

# 地域生涯学習要求の存在構造

## ——香川県長尾・大内両町を事例として——

片岡弘勝

はじめに

- I 調査の概要
- II 暮らしの様子と生きがい、不安および希望する将来の地域像
- III 学習・文化活動・スポーツの実態
- IV 学習・文化活動・スポーツへの要求

まとめ

資料

- 1. アンケート票と単純集計
- 2. 補足集計票

はじめに

社会の「生涯学習化」が提唱されて以来、全国各地において生涯学習計画あるいは同プログラムが盛んに作成され、これらについて議論されるようになった。そして、今日ではそれらがどのような生涯学習現実と将来構想を前提にしてどのような内実を創り出しているか、が吟味される段階を迎えている。

地域生涯学習においては、学習の主人公（学習主体）が自らの生活要求と学習要求を仲間と共に自らの力でとらえ、学習を自ら方向づけていく筋道が重視される。この学習の過程では、表面上の学習活動の規模ではなく、一連の学習・教育実践の中で一人ひとりの学習者がこうした「自己方向づけ学習」あるいは自己教育を進めることのできる力量を形成すること、すなわち自己教育の主体形成の内実が問われるのである。この自己教育の営みでは、学習主体である住民個人とその援助者（住民相互の関係、あるいは関係する専門職員）がまず住民の学習要求を理解することから実践が始められる。学習主体の学習要求を深くとらえるためには、実に息の長いとりくみが必要となることは、これまでの社会教育実践史および生涯学習の歴史が示している。こうした学習過程では、地域における人の暮らし方とその展望を見通す認識が問われ、学習主体とその援助者は生活課題とその背景にある歴史的・構造的な問題状況およびこれを解決する方法と照らし合わせた学習要求を明らかにし、学習課題を設定していくことが求められるのである。

以上のような観点に立つならば、生涯学習計画と同プログラムを企画・立案する上では、地域住民の生涯学習要求をどのようなものとしてとらえるか、という点が最も基本的な前提条件となる。住民のいまだく生きがいや悩み、生活上あるいは職業上の課題、また地域社会の課題をどの程度まで深くとらえるか、という学習要求に対する認識が生涯学習計画と同プログラムの有効性を大きく左右するからである。

本稿は、生涯学習に関する以上のような観点と問題関心から、学習要求を理解するためには年月を要する重層的な実践と研究が必要であることを十分に認識しつつも、まず基礎作業として事例に即したアンケート票調査により、地域住民の生涯学習要求を考察するものである。本研究では、前述の問題意識からアンケート票調査の視点として、広く一般に用いられているように個別の学習要求のみをとり出してアン

ケート票で回答を求めるという手法を採らない。こうした手法では、地域住民の暮らし方、地域産業の支え方、地域の自然観、社会規範、文化、エートスと関連させて学習要求をとり上げることがない。このため、結果として都市部で消費生活を中心にして生活を送るいわゆる「市民層」を前提にしながらも実は抽象的、一般的な学習要求をとり扱うことになる傾向が強いからである。本研究では、地域での住民の暮らし方、生きがい、不安、将来に希望する地域像をとり上げ、生涯学習要求との関連をみることによって、学習要求が地域という生活圏の中でどのように存在しているか、という存在構造を考察する。

調査事例としては、香川県内でも香川大学生涯学習教育研究センターから遠い距離にあつて容易には同センターに通うことができないため、住民の学習要求を把握することが困難であった東讃、西讃および小豆の各地域のなかからまず東讃地域から選ぶこととした。東讃の大川郡8町のうちでは、大藪和雄が国勢調査特化係数、事業所統計特化係数および統計資料をもとに香川県内市町の比較により同市町の特徴を明らかにした研究（大藪和雄「香川県における市町の特徴」、『香川大学経済論叢』第66巻第3号、香川大学経済学会発行、1993年12月、271-287頁）に主に依拠して長尾町と大内町の2町を有為に選んだ。大藪の前掲研究によれば、大川郡8町のうち、志度町は人口増加の傾向が比較的に大きい等の点で他の7町に比べやや異なる側面がみられる。さらに、歴史的にみても、東に位置する引田、白鳥、大内の3町および西に位置する長尾、寒川、大川、そして津田の4町は各々産業、文化等の面で類似性がみられると指摘されているので、これらのグループから1町ずつ選ぶことにし、できるだけ多種類の職種から標本を得るために、主に大藪の前掲研究における国勢調査特化係数をもとにして上記の2町を選んだ。

長尾町および大内町の人口は各々約1万3千人、約1万7千人であり、大藪の前掲研究では、両町ともに第二次産業と第一次産業が相対的に多い町のグループに属す。長尾町はなかでも農業中心地域に属し、米、畜産の他、苺、葡萄、桃の栽培に特徴があり、大内町は工業中心地域に属し、皮革、繊維、化学の出荷額が多く、引田、白鳥両町とともに手袋およびニット製品の生産に特徴があることが統計数字で示されている。

なお、本稿では長尾、大内両町のデータを一括して考察し、必要に応じて各町別のデータについてふれることにする。

## I 調査の概要

### 1. 調査の設計、項目

前述のような問題意識と目的をもって以下のような調査設計および調査項目により本調査を実施した。

#### (1) 調査の設計

- |         |  |
|---------|--|
| ① 調査地域  | 香川県大川郡内の長尾町および大内町  |
| ② 調査対象者 | 両町に在住する20歳以上の個人  |
| ③ 母集団   | 23,984（長尾町 10,250、大内町 13,734 ただし、1994年11月現在）             |
| ④ 標本数   | 952（長尾町 410、大内町 542）                                     |
| ⑤ 標本抽出  | 大川郡内の8町のうち前述の理由から長尾町・大内町の2町を有為に選び、両町ともに母集団の1/25を単純無作為に抽出 |
| ⑥ 調査の種類 | アンケート調査票調査   |
| ⑦ 調査方法  | 郵送による（調査票を郵送して配布、記入後郵送により回収）                             |
| ⑧ 調査期間  | 1994年11月～1995年1月   |

⑨ 調査票 後掲（末尾の資料）

(2) 調査項目

- ① 調査対象者の属性：4項目  
 在住町、職業、年齢、性別（問1）
- ② 暮らしの様子と生きがい、不安および希望する将来の地域像について（7項目）
  - ・自由に使える時間の実態（問2：A. 平日、B. 休日）
  - ・自由時間の過ごし方の実態（問3：A. 平日、B. 休日）
  - ・暮らしのなかの生きがい（問4）
  - ・暮らしのなかの不安（問5）
  - ・希望する将来の地域像（問6）
- ③ 学習・文化活動・スポーツの実態（3項目）
  - ・学習・文化活動・スポーツへのとりくみの有無（問7）
  - ・とりくんでいる学習・文化活動・スポーツの内容と場所・機関（問8）
  - ・学習・文化活動・スポーツにとりくんでいない人の意識（問9）
- ④ 学習・文化活動・スポーツへの要求（2項目）
  - ・どのような学習・文化活動・スポーツにとりくみたいか（問10）
  - ・どのような時間帯を望むか（問11）

2. 回収結果

回収に際して、調査への協力要請を再度行った。有効回収は404票で、回収率は42.4%であった。町別の回収数および回収率は表I-1に示すとおりである。

表I-1 回収結果

町	母集団(*)	標本数(*)	有効回収数(*)	回収率
長尾町	10,250(42.7)	410(43.1)	195(48.3)	47.6%
大内町	13,734(57.3)	542(56.9)	209(51.7)	38.6%
全体	23,984(100.0)	952(100.0)	404(100.0)	42.4%

(\*印は構成比、小数点以下第2の位を四捨五入)

3. 回答者の属性

問1では、回答者の居住する町、職業、年齢、性別の各項目をたずねた。これらのうち、居住する町については前述したので、ここでは職業、年齢、性別についてみることにする。

なお、本稿で示す以下の表（末尾の資料の単純集計および補足集計表を含む）においては、とくに示さない限り、上段に実数（単位：人）を示し、下段にその比率（%）を示した。比率（%）はとくにことわらない限り、有効回答総数404に対する比率であり、また年齢層毎に示す比率（%）は各年齢層毎の有効回答数に対する比率であり、性別毎に示す比率（%）は各性毎の有効回答数に対する比率である。また各職業毎に示す比率も各職業毎の有効回答数に対する比率である。したがって以下、年齢層毎、性別毎および各職業毎の比率に言及する場合は各々当該年齢層、当該性、当該職業内における比率である。すべて小数点以下第2の位を四捨五入した。また以下の図（グラフ）においてはすべて比率を示した。

(1) 年齢と性別

長尾・大内両町合算、長尾町、大内町の回答者の年齢と性別の構成をまとめると、各々表I-2、表I-3、表I-4のようになり、これらのうち両町合算で、年齢構成および性別構成をグラフにしたものが、各々図I-1、図I-2である（単数回答）。

なお、有効回収数の全年齢に対する年齢層毎の比率を母集団の全年齢に対する年齢層毎の比率と照合させた結果は、表I-5に示したとおりである。回収状況は、概ね20、30歳代が1.7%から3.9%の幅で少なく、40、50歳代が1.3%から4.2%の幅が多い。60歳以上では、0.2%から0.9%の幅が多い。この場合、母集団に関わる数字は、時期の上で最も近い1990年に実施された総務庁統計局の国勢調査（総務庁統計局編

表I-2 長尾・大内両町合算の回答者の年齢・性別構成

	男性	女性	無記入	計
20歳代	13	34	0	47
	27.7	72.3	0.0	100.0
30歳代	8.2	14.3	0.0	11.6
	18	32	0	50
40歳代	36.0	64.0	0.0	100.0
	11.3	13.5	0.0	12.4
50歳代	35	55	0	90
	38.9	61.1	0.0	100.0
60歳代	22.0	23.2	0.0	22.3
	37	47	1	85
70歳以上	43.5	55.3	1.2	100.0
	23.3	19.8	12.5	21.0
年齢無記入	31	37	1	69
	44.9	53.6	1.4	100.0
計	19.5	15.6	12.5	17.1
	21	29	5	55
年齢無記入	38.2	52.7	9.1	100.0
	13.2	12.2	62.5	13.6
計	4	3	1	8
	50.0	37.5	12.5	100.0
計	2.5	1.3	12.5	2.0
	159	237	8	404
計	39.4	58.7	2.0	100.0
	100.0	100.0	100.0	100.0

表I-3 長尾町回答者の年齢・性別構成

	男性	女性	無記入	計
20歳代	5	13	0	18
	27.8	72.2	0.0	100.0
30歳代	6.3	11.5	0.0	9.2
	8	17	0	25
40歳代	32.0	68.0	0.0	100.0
	10.1	15.0	0.0	12.8
50歳代	21	26	0	47
	44.7	55.3	0.0	100.0
60歳代	26.6	23.0	0.0	24.1
	17	22	1	40
70歳以上	42.5	55.0	2.5	100.0
	21.5	19.5	33.3	20.5
年齢無記入	16	18	1	35
	45.7	51.4	2.9	100.0
計	20.3	15.9	33.3	17.9
	12	16	1	29
年齢無記入	41.4	55.2	3.4	100.0
	15.2	14.2	33.3	14.9
計	0	1	0	1
	0.0	100.0	0.0	100.0
計	0.0	0.9	0.0	0.5
	79	113	3	195
計	40.5	57.9	1.5	100.0
	100.0	100.0	100.0	100.0

表I-4 大内町回答者の年齢・性別構成

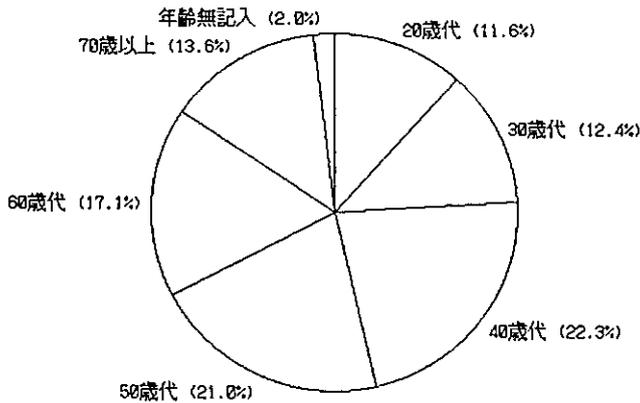
	男性	女性	無記入	計
20歳代	8	21	0	29
	27.6	72.4	0.0	100.0
30歳代	10.0	16.9	0.0	13.9
	10	15	0	25
40歳代	40.0	60.0	0.0	100.0
	12.5	12.1	0.0	12.0
50歳代	14	29	0	43
	32.6	67.4	0.0	100.0
60歳代	17.5	23.4	0.0	20.6
	20	25	0	45
70歳以上	44.4	55.6	0.0	100.0
	25.0	20.2	0.0	21.5
年齢無記入	15	19	0	34
	44.1	55.9	0.0	100.0
計	18.8	15.3	0.0	16.3
	9	13	4	26
年齢無記入	34.6	50.0	15.4	100.0
	11.3	10.5	80.0	12.4
計	4	2	1	7
	57.1	28.6	14.3	100.0
計	5.0	1.6	20.0	3.3
	80	124	5	209
計	38.3	59.3	2.4	100.0
	100.0	100.0	100.0	100.0

セル内の上段は実数、中段は横の計に対する%、  
下段は縦の計に対する%、小数点以下第2の位を四捨五入

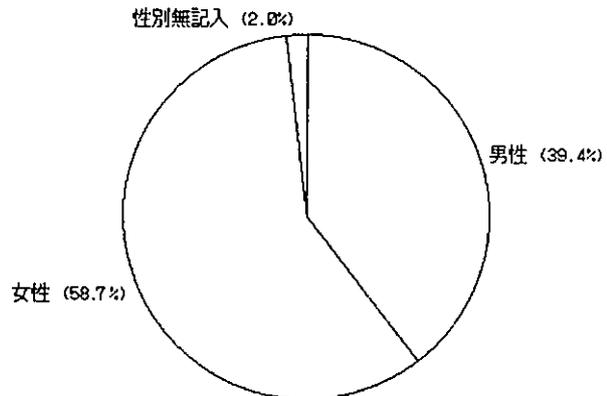
集・発行「香川県の人口」（平成2年国勢調査解説シリーズNo2 都道府県の人口 その37、1993年3月）をもとにして作成した。同調査報告の年齢区分が5歳間隔で設定され、最高年齢層が「65歳以上」で一括されているため、同表ではこれと照応するよう年齢層を区分せざるをえない。

(2) 年齢と職業

回答者全体の年齢と職業の構成をまとめると、表I-6のようになり、このうち年齢全体についての職業構成をグラフで示すと、図I-3のようになる（単数回答）。



図I-1 年齢構成



図I-2 性別構成

表I-5 有効回収数および母集団の全年齢に対する各年齢層毎の比率

	両町合算		長尾町		大内町	
	有効回収	母集団	有効回収	母集団	有効回収	母集団
20歳代	11.6	13.4	9.2	13.1	13.9	13.6
30歳代	12.4	16.2	12.8	16.7	12.0	15.8
40歳代	22.3	21.0	24.1	19.9	20.6	21.9
50歳代	21.0	18.0	20.5	17.6	21.5	19.2
60歳以上	30.7	30.9	32.8	32.5	28.7	29.6

\*数字はすべて比率(%)。

表I-6 年齢と職業の構成

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	計
20歳代	0	0	0	2	0	2	1	20	1	1	2	2	4	6	5	1	47
	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	2.1	42.6	2.1	2.1	4.3	4.3	8.5	12.8	10.6	2.1	100.0
30歳代	1	0	0	1	1	1	1	15	1	6	2	5	11	0	4	1	50
	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	30.0	2.0	12.0	4.0	10.0	22.0	0.0	8.0	2.0	100.0
40歳代	9	1	0	7	4	6	2	26	3	8	1	9	5	0	9	0	90
	10.0	1.1	0.0	7.8	4.4	6.7	2.2	28.9	3.3	8.9	1.1	10.0	5.6	0.0	10.0	0.0	100.0
50歳代	9	1	0	6	3	7	1	27	2	4	0	5	13	0	7	0	85
	10.6	1.2	0.0	7.1	3.5	8.2	1.2	31.8	2.4	4.7	0.0	5.9	15.3	0.0	8.2	0.0	100.0
60歳代	18	0	0	4	3	4	1	1	1	0	0	5	30	0	2	0	69
	26.1	0.0	0.0	5.8	4.3	5.8	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	7.2	43.5	0.0	2.9	0.0	100.0
70歳以上	23	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	4	0	55
	41.8	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0	7.3	0.0	100.0
年齢無記入	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	8
	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	100.0
計	62	2	0	23	14	20	6	89	9	19	5	26	89	6	32	2	404
	15.3	0.5	0.0	5.7	3.5	5.0	1.5	22.0	2.2	4.7	1.2	6.4	22.0	1.5	7.9	0.5	100.0

表I-6、図I-3の注

1. 農業 2. 漁業 3. 林業 4. 自営・商業 5. 自営・工業 6. 自営・サービス業  
 7. 自由業 8. 会社員 9. 団体職員 10. 公務員 11. 教員 12. パート勤め  
 13. 無職 14. 学生 15. その他 16. 無記入

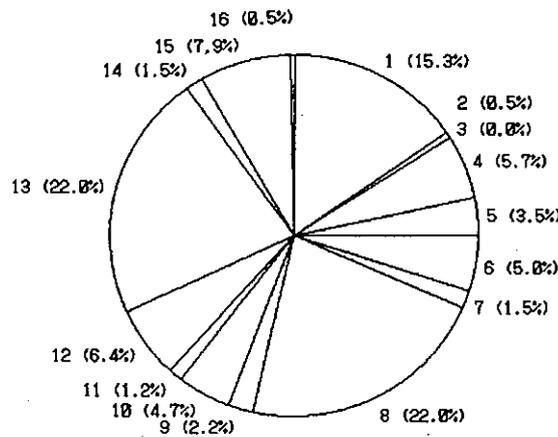


図 I - 3 職業構成 (年齢全体)

選択肢15の「その他」の回答には、「主婦」10名、内職4名、「主婦・内職」2名、看護婦3名、助産婦1名、保母2名、「介護職員（老人健康保健施設）」1名、病院勤務1名、縫製2名、医薬品製造業1名、会社顧問1名、年金生活2名等があった。

職業では、会社員および無職の構成比が各々22.0%で最高であるが、農業が15.3%である。残念ながら林業に就業する人の声をきくことは本調査ではできなかった。

## II 暮らしの様子と生きがい、不安および希望する将来の地域像

ここでは、住民の生涯学習要求をとらえる上で前提となる暮らし方、なかでも自由時間とその過ごし方、地域における暮らしのなかでの生きがいと不安、さらには将来に望む地域像について基本的な傾向をみることにする。

### 1. 自由に使える時間の実態

問2でたずねた自由時間（単数回答）を平日、休日に分けて年齢層毎にまとめると、各々表Ⅱ-1A、表Ⅱ-1Bとなる。また、これらのうち、年齢全体に限ってグラフにして示すと、平日が図Ⅱ-1A、休日が図Ⅱ-1Bとなる。

平日の場合、50歳代以下の年齢層は、やはり自由時間が比較的になくなる。とはいえ、年齢全体でみて、2～3時間が28.0%、1～2時間が20.3%、3～4時間が12.4%であった。休日の場合は、年齢全体でみて21.3%が、7時間以上の自由時間をもっている。

### 2. 自由時間の過ごし方の実態

自由時間の過ごし方については、主なものを3つまでたずねた（複数回答）。単純集計は末尾の「資料」に示したが、ここでは、これらのうち主要な傾向と特質をみておくことにする。比率が著しく高いものがテレビ・ラジオで平日74.5%、休日44.1%もあった。比較的に自由時間の多い休日には、回答者が各々の趣味、生きがい等に時間を使っているが、テレビ・ラジオに次いで多いものは、家族との団らん・子や孫の相手23.8%、休養22.8%、ショッピング21.8%、身の回りの整理・洗車20.0%、園芸・庭いじり20.0%、仲間・友人とのおつきあい18.8%であった。

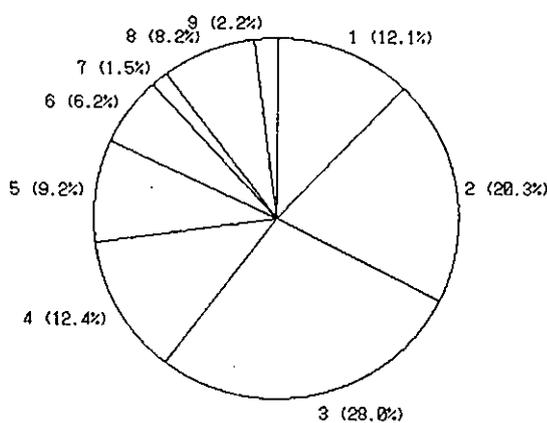
地域生涯学習要求の存在構造

表Ⅱ-1 A 平日の自由時間

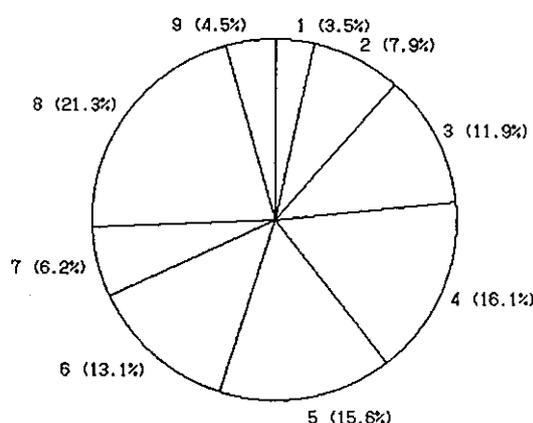
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
20歳代	5 10.6	10 21.3	9 19.1	9 19.1	4 8.5	8 17.0	0 0.0	2 4.3	0 0.0	47 100.0
30歳代	11 22.0	12 24.0	18 36.0	6 12.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0	0 0.0	50 100.0
40歳代	17 18.9	21 23.3	33 36.7	11 12.2	5 5.6	1 1.1	1 1.1	0 0.0	1 1.1	90 100.0
50歳代	11 12.9	21 24.7	23 27.1	11 12.9	9 10.6	3 3.5	1 1.2	4 4.7	2 2.4	85 100.0
60歳代	3 4.3	10 14.5	17 24.6	9 13.0	6 8.7	10 14.5	0 0.0	12 17.4	2 2.9	69 100.0
70歳以上	2 3.6	4 7.3	12 21.8	4 7.3	12 21.8	2 3.6	2 3.6	13 23.6	4 7.3	55 100.0
年齢無記入	0 0.0	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	8 100.0
計	49 12.1	82 20.3	113 28.0	50 12.4	37 9.2	25 6.2	6 1.5	33 8.2	9 2.2	404 100.0

表Ⅱ-1 B 休日の自由時間

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
20歳代	2 4.3	2 4.3	3 6.4	6 12.8	2 4.3	5 10.6	5 10.6	22 46.8	0 0.0	47 100.0
30歳代	5 10.0	6 12.0	5 10.0	10 20.0	5 10.0	7 14.0	4 8.0	7 14.0	1 2.0	50 100.0
40歳代	4 4.4	9 10.0	11 12.2	18 20.0	13 14.4	13 14.4	7 7.8	14 15.6	1 1.1	90 100.0
50歳代	2 2.4	8 9.4	11 12.9	13 15.3	20 23.5	8 9.4	5 5.9	14 16.5	4 4.7	85 100.0
60歳代	0 0.0	3 4.3	14 20.3	8 11.6	10 14.5	14 20.3	1 1.4	13 18.8	6 8.7	69 100.0
70歳以上	1 1.8	3 5.5	3 5.5	8 14.5	12 21.8	5 9.1	3 5.5	15 27.3	5 9.1	55 100.0
年齢無記入	0 0.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	8 100.0
計	14 3.5	32 7.9	48 11.9	65 16.1	63 15.6	53 13.1	25 6.2	86 21.3	18 4.5	404 100.0



図Ⅱ-1 A 平日の自由時間



図Ⅱ-1 B 休日の自由時間

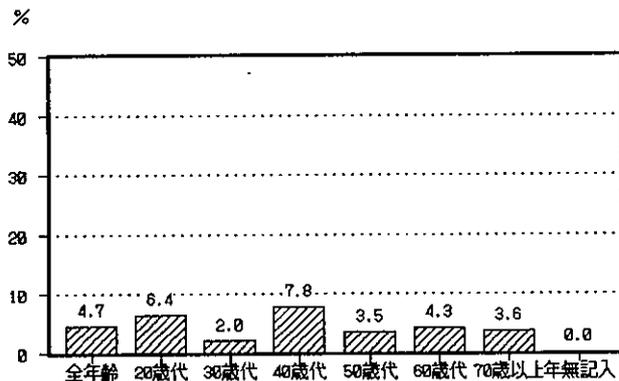
表Ⅱ-1 A、表Ⅱ-1 B、図Ⅱ-1 A、図Ⅱ-1 Bの注

1. 1時間未満
2. 1時間以上～2時間未満
3. 2時間以上～3時間未満
4. 3時間以上～4時間未満
5. 4時間以上～5時間未満
6. 5時間以上～6時間未満
7. 6時間以上～7時間未満
8. 7時間以上
9. 無記入

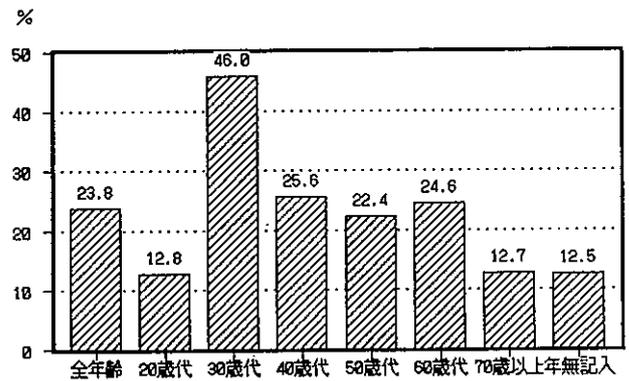
仕事や生活に役立つ知識・技能の習得は、休日2.7%よりも平日4.7%の方が比率が高かった。この平日分をグラフ（図Ⅱ-2）にしてみると、年齢層毎の比率は30歳代が比較的低いですが、その他の年齢層は3.5%を超えており、20歳代は6.4%、40歳代は最高で7.8%である。20歳代と40歳代をはじめとして仕事の後あるいは合間に意欲的にとりくむ層が存在する。

休日に家族との団らんを楽しむ人を年齢層毎にグラフで示すと図Ⅱ-3のようになり、年齢層毎の比率は30歳代の46.0%を最高にして、40歳代、50歳代、60歳代で20数%と続いている。

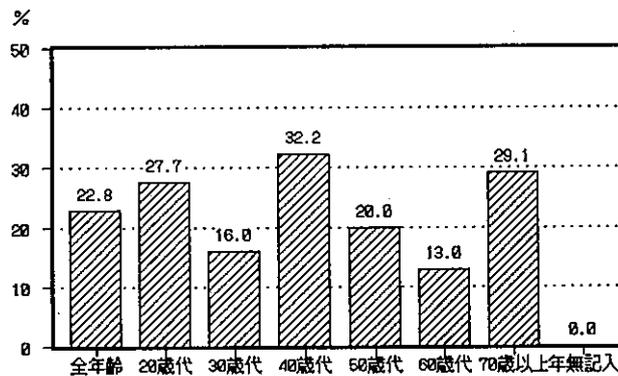
また、平日のみならず、休日にも疲れをいやすため休養する人の比率は、年齢全体で22.8%であった。これを年齢層毎にグラフに示したものが図Ⅱ-4であり、年齢層毎の比率は高齢の70歳以上が29.1%の他、40歳代が32.2%、20歳代が27.7%というように壮年層あるいは20歳代も休養している。30歳代は16.0%と比較的低いが、図Ⅱ-3と重ね合わせると、これは家族との団らんや子の相手をするのに時間を使うためであることが推測される。



図Ⅱ-2 自由時間の過ごし方「仕事や生活に役立つ知識・技能の習得」(平日)



図Ⅱ-3 自由時間の過ごし方「家族との団らんや子・孫の相手」(休日)



図Ⅱ-4 自由時間の過ごし方「疲れをいやすため休養する」(休日)

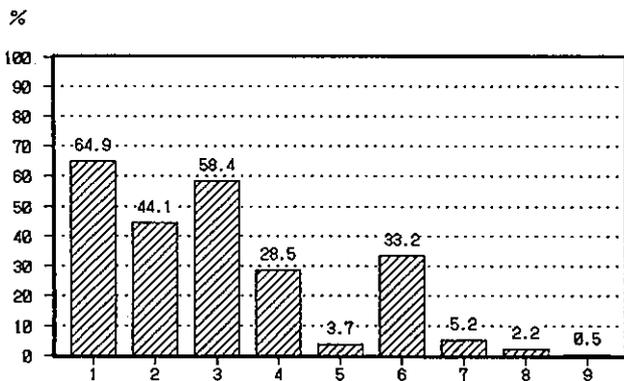
### 3.暮らしのなかの生きがい

問4でたずねた「暮らしのなかの生きがい」の回答状況（複数回答）をまとめたものが表Ⅱ-2であり、このうち年齢全体に限って比率をグラフに示したものが図Ⅱ-5である。趣味33.2%、仕事28.5%という比率がみられるが、選択肢1「住み慣れたところで気ごころの知れた人々のなかで暮らす」64.9%、選択肢3「自然やきれいな空気・水に恵まれて暮らす」58.4%、「子や孫らの家族といっしょに暮らす」

表Ⅱ-2 暮らしのなかの生きがい

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
20 歳代	24 51.1	9 19.1	17 36.2	8 17.0	2 4.3	12 25.5	6 12.8	3 6.4	0 0.0
30 歳代	29 58.0	24 48.0	24 48.0	12 24.0	0 0.0	16 32.0	2 4.0	2 4.0	0 0.0
40 歳代	51 56.7	39 43.3	57 63.3	31 34.4	3 3.3	33 36.7	3 3.3	2 2.2	1 1.1
50 歳代	54 63.5	36 42.4	48 56.5	32 37.6	2 2.4	28 32.9	5 5.9	1 1.2	1 1.2
60 歳代	48 69.6	30 43.5	45 65.2	20 29.0	5 7.2	31 44.9	1 1.4	1 1.4	0 0.0
70 歳以上	50 90.9	37 67.3	39 70.9	9 16.4	2 3.6	10 18.2	4 7.3	0 0.0	0 0.0
年齢無記入	6 75.0	3 37.5	6 75.0	3 37.5	1 12.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	262 64.9	178 44.1	236 58.4	115 28.5	15 3.7	134 33.2	21 5.2	9 2.2	2 0.5

表Ⅱ-2、図Ⅱ-5の注



1. 住み慣れたところで気ごころの知れた人々のなかで暮らすこと
2. 子や孫らの家族といっしょに暮らすこと
3. 自然やきれいな空気・水に恵まれて暮らすこと
4. いまの仕事にはりあいがある
5. 地域の年中行事（お祭り・太鼓等）を支えていくこと
6. 趣味
7. 生きがいはない
8. その他
9. 無記入

図Ⅱ-5 暮らしのなかの生きがい (年齢全体)

表Ⅱ-3 「自然やきれいな空気・水に恵まれて暮らす」(職業)

職業	農 業	漁 業	林 業	自 営 ・ 商 業	自 営 ・ 工 業	豊 産 サ ー ビ ス 業	自 由 業	会 社 員	団 体 職 員	公 務 員	教 員	パ ー ト 勤 め	無 職	学 生	そ の 他	無 記 入	計
	38 61.3	1 50.0	0	11 47.8	9 64.3	12 60.0	6 100.0	45 50.6	6 66.7	8 42.1	3 60.0	15 57.7	60 67.4	4 66.7	17 53.1	1 50.0	236 58.4

44.1%が一層高いことが注目される。この高率の回答状況は、後述するように学習要求に反映してくるものである。

これらのうち、選択肢1「住み慣れたところで気ごころの知れた人々のなかで暮らす」、選択肢3「自然やきれいな空気・水に恵まれて暮らす」の回答についての年齢層毎の比率を表Ⅱ-2でみると、両者共に概ね年齢層が高くなるにつれて漸次が増えるが、最低の20歳代でも各々51.1%、36.2%というように決して少ないということとはできない。選択肢3を職業毎にみたものが、表Ⅱ-3である。同表をみると、公務員が42.1%とやや少ないが、他は概ね50~60%の範囲内であり、職業種によって大きな相違はない模様である。さらに選択肢3について性別にみると、男性94名、女性137名であり、性別毎の比率は各々59.1%、57.8%と、大きな相違はない。年齢層、職業種、性別で概ね大きな相違がみられないことから、選択肢3は地域での暮らしの主要なスタイルとなっているととらえられる。なお、選択肢3の回答は長尾町データでは60.0%、大内町データでは56.9%であった。

一方、「生きがいはない」という回答の場合、年齢層毎の比率は、20歳代が最高で12.8%であった。

以上のことから、総じて自然環境に恵まれて気ごころの知れた人々のなかで暮らすことが、地域の大きな生活要求となっている。

#### 4. 暮らしのなかの不安

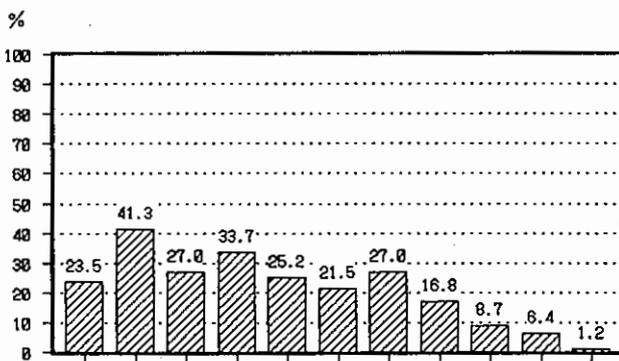
問5でたずねた暮らしのなかの不安についての回答状況（複数回答）をまとめたものが表Ⅱ-4であり、このうち年齢全体に就いて比率をグラフに示したものが図Ⅱ-6である。

選択肢2の自らの老後の介護に関する不安の比率が41.3%で最高であり、選択肢4の生活の便利化に伴う山林・自然破壊の進行に対する不安が33.7%、選択肢3の親の老後の介護に関する不安が27.0%、選択肢7の道路・商店街・レジャー施設等、生活が便利にならないことに関する不安が27.0%と高かった。

表Ⅱ-4 暮らしのなかの不安

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
20歳代	7	5	18	13	10	7	21	13	3	2	0
	14.9	10.6	38.3	27.7	21.3	14.9	44.7	27.7	6.4	4.3	0.0
30歳代	9	8	23	15	5	4	19	16	2	4	1
	18.0	16.0	46.0	30.0	10.0	8.0	38.0	32.0	4.0	8.0	2.0
40歳代	20	38	42	34	28	23	28	15	5	5	0
	22.2	42.2	46.7	37.8	31.1	25.6	31.1	16.7	5.6	5.6	0.0
50歳代	27	48	17	26	21	18	15	15	3	5	2
	31.8	56.5	20.0	30.6	24.7	21.2	17.6	17.6	3.5	5.9	2.4
60歳代	13	39	3	27	22	18	17	4	10	6	1
	18.8	56.5	4.3	39.1	31.9	26.1	24.6	5.8	14.5	8.7	1.4
70歳以上	17	24	2	19	15	16	6	2	12	3	1
	30.9	43.6	3.6	34.5	27.3	29.1	10.9	3.6	21.8	5.5	1.8
年齢無記入	2	5	4	2	1	1	3	3	0	1	0
	25.0	62.5	50.0	25.0	12.5	12.5	37.5	37.5	0.0	12.5	0.0
計	95	167	109	136	102	87	109	68	35	26	5
	23.5	41.3	27.0	33.7	25.2	21.5	27.0	16.8	8.7	6.4	1.2

表Ⅱ-4、図Ⅱ-6の注



図Ⅱ-6 暮らしのなかの不安 (年齢全体)

1. 若い人がだんだん他の地域に移り住んで、〈むら〉や〈まち〉の人口が減っていくこと
2. 年をとって一人住まいになると、からだが不自由になったり、病気になってしまったとき、介護をしてくれる人がいるかどうか不安
3. 親が高齢になったとき、十分に介護できるかどうか不安
4. 道路や住宅地が整備されて便利になったが、これにともない山林や自然がこわされていくことが不安
5. 自然がこわされていくことによって、将来、水不足・土砂崩れなどの災いが起きないか不安
6. だんだんと、となり近所づきあいがぎすぎすしていきのではないか不安
7. 道路・商店街やレジャー施設などがなかなか便利にならない
8. 学習・文化活動・スポーツをする場が少ない
9. 何も不安はない
10. その他
11. 無記入

選択肢2の自らの老後の介護に関する不安をもつ年齢層毎の比率は50歳代、60歳代の各々56.5%を最高にして40歳代以上に高い。

選択肢4の生活の便利化に伴う山林・自然破壊の進行に対する不安をもつ年齢層毎の比率は、60歳代39.1%、20歳代27.7%である。この不安については年齢の間で著しく大きな相違があるとはいえない。選択肢4と選択肢5はいずれも地域の自然環境の中での暮らし方を示す一つの重要な指標になる。両選択肢

のいずれかについて不安を持つ人は176名であるが、これを職業毎に示したものが表Ⅱ-5である。同表によれば、各職業毎の比率は自営・サービス業、公務員、教員、パート勤めが35%前後であるが、農業、自営・商業、自営・工業、自由業、団体職員、無職が40%台～50%台である他、学生だけが66.7%となっている。

表Ⅱ-5 「生活の便利化に伴う山林・自然破壊の進行に対する不安」(選択肢4) または「自然破壊によって、将来水不足・土砂崩れ等の災いの発生が不安」(選択肢5) 176名(職業)

職業	農業	漁業	林業	自営・商業	自営・工業	農サービス業	自由業	会社員	団体職員	公務員	教員	パート勤め	無職	学生	その他	無記入	計
	28	0	0	12	7	7	3	35	5	7	1	9	45	4	12	1	176
	45.2	0.0		52.2	50.0	35.0	50.0	39.3	55.6	36.8	20.0	34.6	50.6	66.7	37.5	50.0	43.6

一方、選択肢7の「道路・商店街・レジャー施設等、生活が便利にならないこと」に関する不安をもつ年齢層毎の比率は、概ね年齢が若くなるにつれて高くなっている。

### 5. 希望する将来の地域像

問6では希望する将来の地域像を2つまでたずねた(複数回答)。その結果をまとめたものが表Ⅱ-6であり、このうち年齢全体に限ってグラフに示したものが図Ⅱ-7である。

図Ⅱ-7にみるように、選択肢6の「緑を保存して、安心して水や野菜、山の幸、海の幸を食べられる地域」の51.0%と、選択肢8の「福祉のゆきとどいた地域」の47.5%の両者の比率が他に比較して一段と高い結果が現れた。

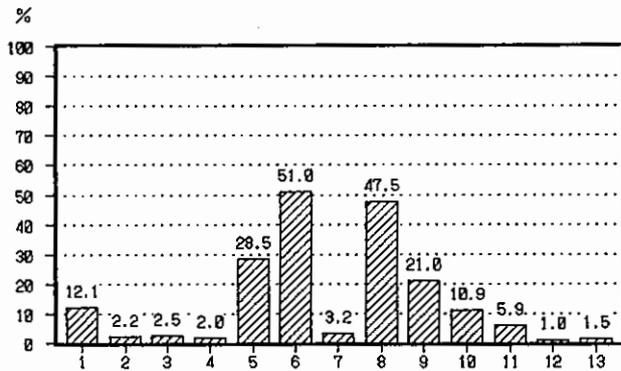
選択肢6の回答状況を年齢層毎に示した図Ⅱ-8をみると、年齢層毎の比率は40歳代の62.2%が最高であるが、他の年齢層については著しい相違はみられない。この選択肢についてはほぼすべての年齢層で関心が高いといえる。同回答状況を職業毎に示したものが表Ⅱ-7である。これによれば、各職業毎の比率は80%台が学生、70%台がパート勤め、60%台が団体職員、無職、50%台が自営・工業、自営・サービス業であり、農業は43.5%である。また性別では男性63名、女性138名で、性別毎の比率は各々39.6%、58.2%と女性の方が高い。なお、長尾町データは47.7%、大内町データは54.1%となっている。

さらに、この選択肢6、問4(生きがい)の選択肢3「自然やきれいな空気・水に恵まれて暮らすこと」、および問5(不安)の選択肢4「道路や住宅地が整備されて便利になったが、これにともない山林や自然がこわされていくことが不安」または問5の選択肢5「自然がこわされていくことによって、将来、

表Ⅱ-6 希望する将来の地域像

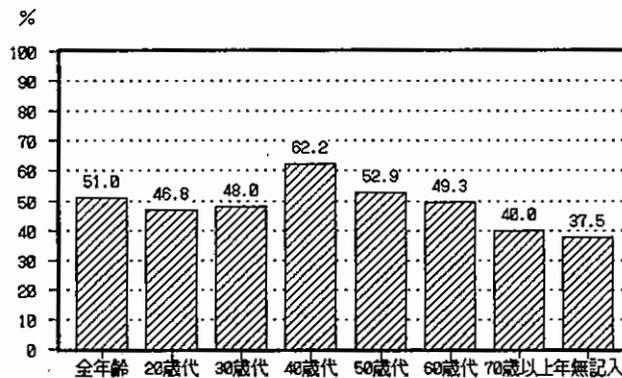
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
20歳代	1 2.1	1 2.1	0 0.0	2 4.3	13 27.7	22 46.8	2 4.3	15 31.9	12 25.5	7 14.9	6 12.8	1 2.1	0 0.0
30歳代	5 10.0	1 2.0	0 0.0	1 2.0	9 18.0	24 48.0	3 6.0	23 46.0	19 38.0	3 6.0	2 4.0	1 2.0	0 0.0
40歳代	8 8.9	0 0.0	3 3.3	0 0.0	25 27.8	56 62.2	3 3.3	44 48.9	19 21.1	11 12.2	3 3.3	1 1.1	0 0.0
50歳代	10 11.8	1 1.2	2 2.4	4 4.7	28 32.9	45 52.9	3 3.5	42 49.4	12 14.1	11 12.9	4 4.7	1 1.2	2 2.4
60歳代	8 11.6	4 5.8	4 5.8	1 1.4	21 30.4	34 49.3	1 1.4	33 47.8	12 17.4	4 5.8	3 4.3	0 0.0	3 4.3
70歳以上	16 29.1	1 1.8	1 1.8	0 0.0	15 27.3	22 40.0	1 1.8	32 58.2	9 16.4	7 12.7	6 10.9	0 0.0	1 1.8
年齢無記入	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	4 50.0	3 37.5	0 0.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	49 12.1	9 2.2	10 2.5	8 2.0	115 28.5	206 51.0	13 3.2	192 47.5	85 21.0	44 10.9	24 5.9	4 1.0	6 1.5

表Ⅱ-6、図Ⅱ-7の注



図Ⅱ-7 希望する将来の地域像 (年齢全体)

1. いまある農業・漁業・林業がしっかりした地域
2. 工業を中心とした地域
3. 商業を中心とした地域
4. リゾート地・ゴルフ場のある観光の地域
5. 農業・漁業・林業・商業・工業の調和のとれた地域
6. 緑を保存して、安心して水や野菜・山の幸・海の幸を食べられる地域
7. 住宅地を増やしてもっとにぎわいのある地域 (そのためには山林が減ってもやむをえない)
8. 福祉のゆきとどいた地域
9. わずらわしい村の古い慣習・しきたりや規制がなくなつてほしい
10. 文化的行事や催しが増えてほしい
11. いまのままが一番よい
12. その他
13. 無記入



図Ⅱ-8 「緑を保存して、安心して水や野菜、山の幸、海の幸を食べられる地域」を望む (年齢層)

表Ⅱ-7 選択肢6の「緑を保存して、安心して水や野菜、山の幸、海の幸を食べられる地域」(職業)

職業	農 業	漁 業	林 業	自 営 ・ 商 業	自 営 ・ 工 業	農 業 ・ 工 業	自 由 業	会 社 員	団 体 職 員	公 務 員	教 員	バ イ ト 勤 め	無 職	学 生	そ の 他	無 記 入	計
	27 43.5	0 0.0	0	9 39.1	7 50.0	10 50.0	2 33.3	39 43.8	6 66.7	9 47.4	1 20.0	19 73.1	54 60.7	5 83.3	17 53.1	1 50.0	206 51.0

水不足・土砂崩れなどの災いが起きないか不安」の三者の全てに○で回答した、いわば「自然環境問題関心層」88名についてみてみたい。この回答者は自然環境の恵みを生きがいとして受けとめ、現状ではその生きがいが消滅するのではないかという不安を抱き、したがって将来この生きがいが存続することを希望する層であるといえる。この層は有効回答総数404に対して21.8%である。この回答者を年齢層毎、職業毎にみたものが各々図Ⅱ-9、表Ⅱ-8である。これらを見ると、年齢層では40歳代が33.3%、60歳代が26.1%、職業種では団体職員、学生が各々33.3%、無職32.6%が比較的高い数字となっている。また性別では、男性30名、女性57名で各性別回答数に対する比率は各々18.9%、24.1%とやはり女性の方が関心が高い。なお、長尾町データは20.5%、大内町データは23.0%であった。

一方、この選択肢と対立する側面がある選択肢7「住宅地を増やしてもっとにぎわいのある地域（そのためには山林がへっでもやむをえない）」についての回答状況を年齢層毎にグラフで示すと、図Ⅱ-10のようになる。比率は年齢全体では3.2%であり、選択肢6に比べて明らかに低い。とはいえ、年齢層毎の比率は30歳代6.0%、20歳代4.3%がわずかばかり高いことがわかる。

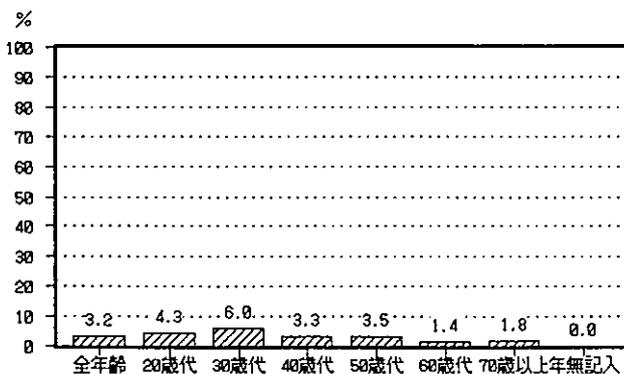
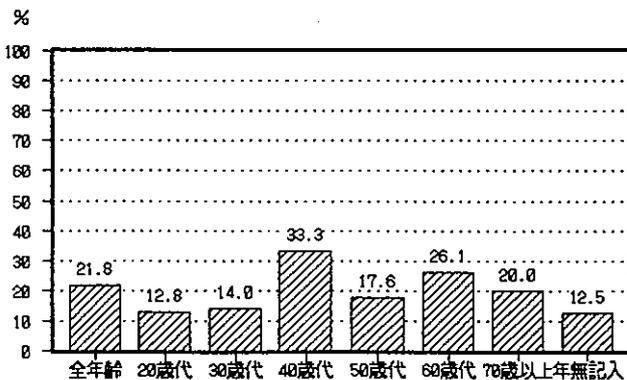
選択肢8「福祉のゆきとどいた地域」についての回答状況を年齢層毎に示すと図Ⅱ-11のようになる。年齢層毎の比率は20歳代の31.9%が最低であるが、30歳代以上については46%以上あり、70歳以上は58.2%になる。福祉は30歳代以上の人には大きな課題であると考えられている。これを性別にみると、一般的に女性の方に介護等の負担が強く期待される傾向があるためか、性別毎の比率は男性35.2%、女性55.3%であり女性の方が福祉に関する要求が高い。同選択肢の回答者のうち、問5の選択肢2（自らの高齢時の介護に関する不安）にも○で回答した人は106名（問6の選択肢8の回答者数に対する比率55.2%）であり、一方問5の選択肢3（親の高齢時の介護に関する不安）にも○で回答した人は55名（同28.6%）であった。さらに、問5の選択肢2かつ選択肢3および問6の選択肢8の全てに○で回答した人は130名であり、それを性別毎の比率でみると、男性19.5%、女性40.9%と一段と女性の方が高くなっている。

選択肢1「いまある農業・漁業・林業がしっかりした地域」の回答状況を職業毎に示したものが表Ⅱ-9である。これによれば、農業が25名（漁業・林業の回答数零）、その他の職業24名であり、選択肢1の回答者の約半数が農・漁・林業以外の職業に従事しながらも農業の将来のあり方に関心をもっている。とはいえ、選択肢1の回答者数の当該職業毎の比率は、農業が40.3%、農・漁・林業以外の職業7.1%である。7.1%と少数ながらもこうした関心をもつ層が存在する。

選択肢11「いまのままが一番よい」の回答状況では、年齢層毎の比率は20歳代が12.8%で最高であり、70歳以上が10.9%と続くが、他の年齢層では3.3%から4.7%と比較的に低くなっている。このうち20歳代の

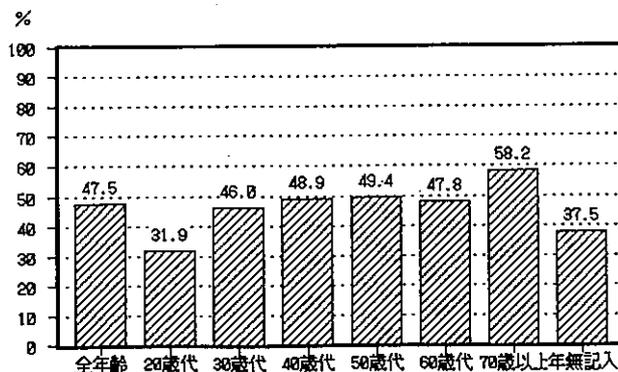
表Ⅱ-8 「自然環境問題関心層」88名（職業）

職業	農業	漁業	林業	自営・商業	自営・工業	農・サレヒス業	自由業	会社員	団体職員	公務員	教員	パート勤め	無職	学生	その他	無記入	計
	10	0	0	4	2	4	1	17	3	3	0	6	29	2	7	0	88
	16.1	0.0	0.0	17.4	14.3	20.0	16.7	19.1	33.3	15.8	0.0	23.1	32.6	33.3	21.9	0.0	21.8



図Ⅱ-9 「自然環境問題関心層」88名（年齢層）

図Ⅱ-10 「住宅地を増やしてもっとにぎわいのある地域」を望む（年齢層）



図Ⅱ-11 「福祉のゆきとどいた地域」を望む (年齢層)

表Ⅱ-9 「いまある農業・漁業・林業がしっかりした地域」(職業)

職業	農業	漁業	林業	自営・商業	自営・工業	農・サレシ業	自由業	会社員	団体職員	公務員	教員	パート勤め	無職	学生	その他	無記入	計
	25	0	0	1	1	0	0	11	4	1	1	1	3	0	1	0	49
	40.3	0.0	0.0	4.3	7.1	0.0	0.0	12.4	44.4	5.3	20.0	3.8	3.4	0.0	3.1	0.0	12.1

数字は予想外であった。この点についての意識状況と背景に関して検討する必要があると考えられる。

### Ⅲ 学習・文化活動・スポーツの実態

#### 1. 学習・文化活動・スポーツへのとりくみの有無

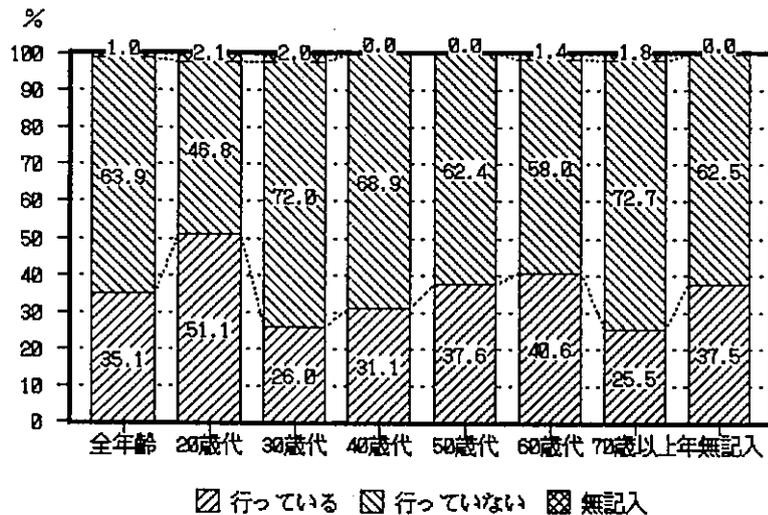
問7では、現在になか学習・文化活動・スポーツにとりくんでいるか否かについてたずねた(単数回答)。その結果を性別・年齢について集計すると表Ⅲ-1のようになる。性別に限ってみると、「行っている」と回答した人は男性のうちの34.0%、女性のうちの35.9%で、「行っていない」と回答した人は男性のうちの63.5%、女性のうちの64.1%であり、性別については大きな相違はみられない。

一方、年齢層毎に「行っている」、「行っていない」および無記入の構成比をグラフで示したものが、図Ⅲ-1である。20歳代の年齢層についてのみ、「行っている」が51.1%と半数を超えている。

表Ⅲ-1 学習・文化活動・スポーツへのとりくみの有無

	性 全 体				男 性				女 性			
	はい	いいえ	無記入	計	はい	いいえ	無記入	計	はい	いいえ	無記入	計
20 歳 代	24 51.1	22 46.8	1 2.1	47 100.0	8 61.5	4 30.8	1 7.7	13 100.0	16 47.1	18 52.9	0 0.0	34 100.0
30 歳 代	13 26.0	36 72.0	1 2.0	50 100.0	4 22.2	13 72.2	1 5.6	18 100.0	9 28.1	23 71.9	0 0.0	32 100.0
40 歳 代	28 31.1	62 68.9	0 0.0	90 100.0	13 37.1	22 62.9	0 0.0	35 100.0	15 27.3	40 72.7	0 0.0	55 100.0
50 歳 代	32 37.6	53 62.4	0 0.0	85 100.0	12 32.4	25 67.6	0 0.0	37 100.0	20 42.6	27 57.4	0 0.0	47 100.0
60 歳 代	28 40.6	40 58.0	1 1.4	69 100.0	10 32.3	20 64.5	1 3.2	31 100.0	17 45.9	20 54.1	0 0.0	37 100.0
70 歳 以上	14 25.5	40 72.7	1 1.8	55 100.0	5 23.8	15 71.4	1 4.8	21 100.0	8 27.6	21 72.4	0 0.0	29 100.0
年齢無記入	3 37.5	5 62.5	0 0.0	8 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
計	142 35.1	258 63.9	4 1.0	404 100.0	54 34.0	101 63.5	4 2.5	159 100.0	85 35.9	152 64.1	0 0.0	237 100.0

\* 「はい」は「行っている」、「いいえ」は「行っていない」。  
 \*\* 「性全体」は「性別無記入」8名を含む。



図Ⅲ-1 学習・文化活動・スポーツへのとりくみの有無 (性全体)

## 2. 学習・文化活動・スポーツの内容と場所・機関

問7で「行っている」と回答した人に、とりくんでいる内容および場所・機関をたずねた(複数回答)。その結果は末尾「資料」の単純集計の欄で整理したとおりである。ただし、集計の比率については、有効回答総数404に対する比率を示した。問7で「行っている」と回答した人に対する比率ではない。

この全体的傾向をみると、各々の趣味や生きがいをもってとりくんでいる層が1人(0.2%)から10数人(約2%から約4%)の幅で存在し、文芸やスポーツの比率が高いという傾向がみられる。なかでも2%以上のものは、バレーボール4.7%、書道3.0%(習字を加えると4.0%)、お花2.7%、ヨガ2.5%、ゲートボール2.0%、ゴルフ2.0%である。

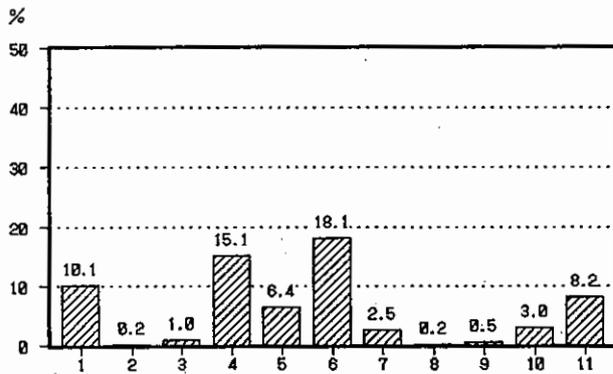
一方、とりくんでいる場所・機関についての回答状況をまとめると、表Ⅲ-2のようになり、このうち年齢全体に限ってグラフで示すと図Ⅲ-2のようになる。

選択肢6の「加入している団体(同好会・婦人会・老人会・青年会・ボランティアのグループなど)」の比率が最高で18.1%である。第二、第三に高いものが各々選択肢4の「スポーツ施設で」、選択肢1の「公民館で」という施設であることから、加入団体の活動で、文芸・趣味に関する内容を公民館にお

表Ⅲ-2 学習・文化活動・スポーツを行う場所・機関

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
20歳代	2 4.3	1 2.1	1 2.1	10 21.3	5 10.6	12 25.5	2 4.3	0 0.0	0 0.0	1 2.1	5 10.6
30歳代	4 8.0	0 0.0	0 0.0	9 18.0	1 2.0	4 8.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0
40歳代	5 5.6	0 0.0	0 0.0	20 22.2	3 3.3	18 20.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	3 3.3	12 13.3
50歳代	12 14.1	0 0.0	2 2.4	12 14.1	4 4.7	14 16.5	1 1.2	0 0.0	1 1.2	1 1.2	7 8.2
60歳代	11 15.9	0 0.0	1 1.4	5 7.2	9 13.0	13 18.8	5 7.2	0 0.0	0 0.0	6 8.7	4 5.8
70歳以上	6 10.9	0 0.0	0 0.0	3 5.5	4 7.3	9 16.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	2 3.6
年齢無記入	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
計	41 10.1	1 0.2	4 1.0	61 15.1	26 6.4	73 18.1	10 2.5	1 0.2	2 0.5	12 3.0	33 8.2

表Ⅲ-2、図Ⅲ-2の注



1. 公民館で
2. 図書館(室)で
3. 働く婦人の家で
4. スポーツ施設で
5. 自宅で
6. 加入している団体(同好会・婦人会・老人会・青年会・ボランティアのグループなど)で
7. 民間のカルチャーセンターで
8. 大学開放講座で
9. 放送大学を利用して
10. 一人で
11. その他

図Ⅲ-2 学習・文化活動・スポーツを行う場所・機関 (年齢全体)

いて、スポーツをスポーツ施設において行っている人が多いことがわかる。

なお、場所・機関で選択肢11「その他」に記述された主要な例は、書道・茶道・華道・表具・三味線・日舞・エレクトーン・手芸を民間の当該教室あるいは個人指導の講師宅において、釣り・ダイビング・ウィンドサーフィンを「近くの海」において、聖書の勉強・ヨガを「近くの集会場」において、編物を「(勤め先の)社内」においてとりくむ等というものであった。

### 3. 学習・文化活動・スポーツにとりくんでいない人の意識——学習・文化活動・スポーツを必要としない住民層、あるいはとりくみを阻害する要因——

問7で、学習・文化活動・スポーツを「行っていない」と回答した人に対しては、問9でその事情や理由を2つまでたずねた(複数回答)。その結果は表Ⅲ-3のようになり、このうち年齢全体に限ってグラフで表したものが図Ⅲ-3である。

ただし、この場合のみ比率(%)は問7で「行っていない」とした回答者数258に対する比率であり、年齢層毎の比率は問7で「行っていない」とした当該年齢層の回答数に対する比率である。

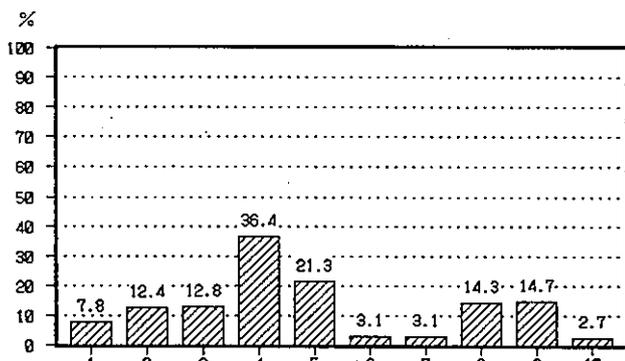
この場合、とりたてて学習・文化活動・スポーツにとりくむ必要をもたない層と必要とするが種々の事情のため現在はとりくむことができない層に大別することができる。表Ⅲ-3および図Ⅲ-3によれば、

表Ⅲ-3 学習・文化活動・スポーツにとりくんでいない事情・理由

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20歳代	0 0.0	2 9.1	3 13.6	11 50.0	4 18.2	0 0.0	4 18.2	2 9.1	2 9.1	1 4.5
30歳代	0 0.0	5 13.9	5 13.9	14 38.9	6 16.7	3 8.3	3 8.3	5 13.9	3 8.3	2 5.6
40歳代	2 3.2	4 6.5	12 19.4	25 40.3	19 30.6	2 3.2	0 0.0	10 16.1	4 6.5	1 1.6
50歳代	2 3.8	8 15.1	6 11.3	25 47.2	14 26.4	1 1.9	0 0.0	7 13.2	6 11.3	0 0.0
60歳代	3 7.5	3 7.5	4 10.0	13 32.5	10 25.0	1 2.5	0 0.0	7 17.5	8 20.0	2 5.0
70歳以上	13 32.5	10 25.0	3 7.5	3 7.5	2 5.0	1 2.5	1 2.5	5 12.5	14 35.0	1 2.5
年齢無記入	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
計	20 7.8	32 12.4	33 12.8	94 36.4	55 21.3	8 3.1	8 3.1	37 14.3	38 14.7	7 2.7

表Ⅲ-3、図Ⅲ-3の注

1. そういう〈気晴らし〉のようなことは春秋のお祭りや正月の行事で十分である。ふだんは〈くまめ〉に働くことが人の暮らし方であると思う。
2. 関心がない。
3. 関心は少しはあるが、時間の余裕がないため、とくに努めて学習・文化活動・スポーツをするための時間をつくろうとは思わない。
4. 関心は少しはあるが、時間の余裕がない。しかし、何かの都合で時間ができれば、行ってみたいと思う時もある。
5. 関心は大いにあるが、時間の余裕がない。しかし、あきらめてはいない。
6. 関心はあるが、家族や近所の人たちの理解がないので、出かけられない。
7. 関心はあるが、託児所が用意されていないので、出かけられない。
8. 関心はあるが、友だちがいない。
9. その他
10. 無記入

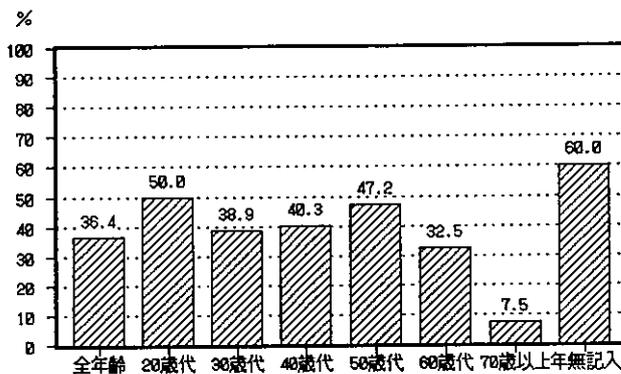


図Ⅲ-3 学習・文化活動・スポーツにとりくんでいない事情・理由 (年齢全体)

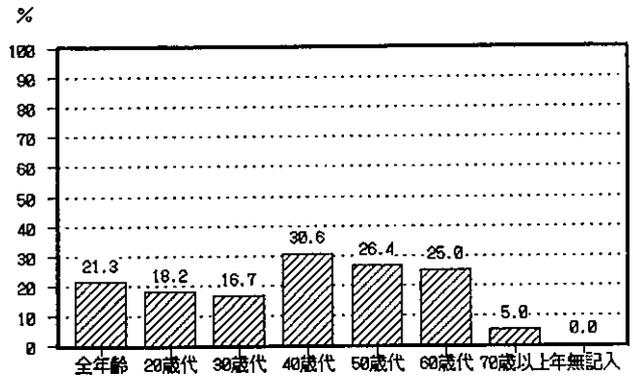
比率は後者の方が高く、なかでも選択肢4「関心は少しはあるが、時間の余裕がない。しかし、何かの都合で時間ができれば、行ってみたいと思う時もある」の36.4%が最高である。これを年齢層毎に示したものが図Ⅲ-4である。また、選択肢5「関心は大いにあるが、時間の余裕がない。しかし、あきらめてはいない」というより切実な層も21.3%あった。これについて年齢層毎に示したものが図Ⅲ-5である。

一方、選択肢1の「そういう〈気晴らし〉のようなことは春秋にお祭りや正月の行事で十分である。ふだんは〈くまめ〉に働くことが人の暮らし方である」の比率は7.8%である。年齢層毎の比率は、20歳代、30歳代が零であるのに対し、70歳以上が32.5%である。ただし、同選択肢に○で回答した20名のうち10名は選択肢3～9にも○で回答していた。したがって、「選択肢1のみ」あるいは「選択肢1と選択肢2」に○で回答した10名に限って分析する意味がある。この10名は、70歳以上5名、60歳代、40歳代各2名、50歳代1名から成る。職業別では、農業5名、会社員2名、無職2名、その他1名であり、性別では男性4名、女性5名、性別無記入1名である。この10名の回答者の問4、問5および問6における回答状況で特徴的な点は次のとおりである。

すなわち、問4（生きがい）では、選択肢1「住み慣れたところで気ごろの知れた人々のなかで暮らすこと」が10名（100.0%）、選択肢3「自然やきれいな空気・水に恵まれて暮らすこと」が6名



図Ⅲ-4 「関心は少しはあるが、時間の余裕がない。しかし、何かの都合で時間ができれば、行ってみたいと思う時もある」



図Ⅲ-5 「関心は大いにあるが、時間の余裕がない。しかし、あきらめてはいない」

(60.0%)、問5(不安)では、選択肢1「若い人の転出で地域の人口が減っていくこと」が4名(40.0%)、選択肢2の自らの高齢時の介護に関する不安が6名(60.0%)、選択肢4「道路や住宅地が整備されて便利になったが、自然が破壊されていくことが不安」が5名(50.0%)、問6(希望する将来の地域像)では、選択肢1「いまある農・漁・林業がしっかりした地域」が5名(50.0%)という点が特徴的である。このアンケート総回答数404に対する各選択肢の回答数の比率が各々、64.9%、58.4%、23.5%、41.3%、33.7%、12.1%であるから、これらすべての項目でこの10名の比率の方が一段と高い。また、この10名は問7では全員が学習・文化活動・スポーツを「行っていない」に回答している。この層は、問4、問5および問6の回答状況を考察した箇所でも既述したような、自然環境の恵みを大切に、気ごころの知れた人々と安心して暮らす生活様式への志向が顕著である。回答数がわずかであるため、断定はできないが、40歳以上の年齢層にこうした暮らし方観が存在することは、地域における知や文化、芸術、スポーツないし生涯学習と、住民のもつ自然観、社会規範全般との関わりのあるあり方を追究する上で無視できない重要な点である。

#### Ⅳ 学習・文化活動・スポーツへの要求

##### 1. 希望する学習・文化活動・スポーツの内容

問10ではなんとか時間をやりくりしてでも行ってみよう学習・文化活動・スポーツについて、記入数の制限なしにいくつでも回答できるようにした(複数回答)。その単純集計は末尾の「資料」に示したが、その基本的構造と特質について以下に述べることにする。

お茶、盆栽、陶芸、絵画等々の趣味や生きがいに関わる内容、および卓球、エアロビクス、ゴルフ等のスポーツについての比率は、一部の例外を除き概ね0.2%から9.7%の幅で要求がある。問10の選択肢のなかで比率が20%以上のものは、料理27.0%、英語24.0%、書道22.8%、健康体操21.8%、「食べ物の安全性」20.8%、「仕事をする中で健康を保つ法(腰痛・貧血等の予防や治療)」20.3%であった。また、比率が10%以上で20%未満のものは、景気の動き17.6%、ワープロ講習16.8%、「内外の政治・経済の動き」16.3%、歴史講座15.6%、パソコン講習15.6%、盆栽12.6%、手芸12.6%、水泳12.4%、華道(お花)12.1%、着付け11.6%、「年金や生活設計に関する知識」11.4%、ヨガ10.9%、「農業の生き残る道」

10.9%、ゴミ問題10.1%という状況であった。

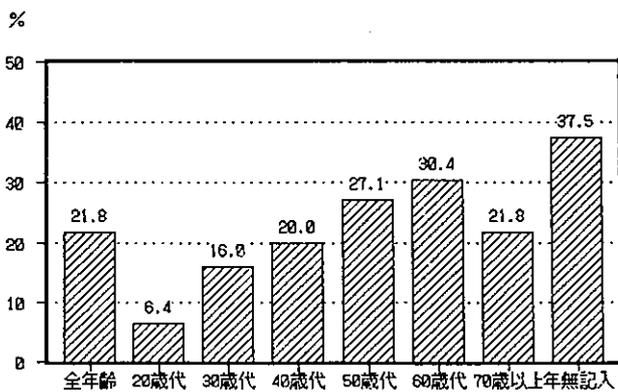
以上に拾い上げた内容を見ると、特徴の一つとして生涯学習要求における健康・安全志向が著しく強いことがうかがわれる。

これらのうち、健康体操および「仕事をする中で健康を保つ法」の場合を年齢層毎に示したものが各々図IV-1および図IV-2である。健康体操の年齢層毎の比率は、20歳代から60歳代まで高齢化するにつれ増し、60歳代の30.4%が最高である。「仕事をする中で健康を保つ法」の年齢層毎の比率は、40歳代から70歳代までの年齢層で概ね21%から23%前後である。

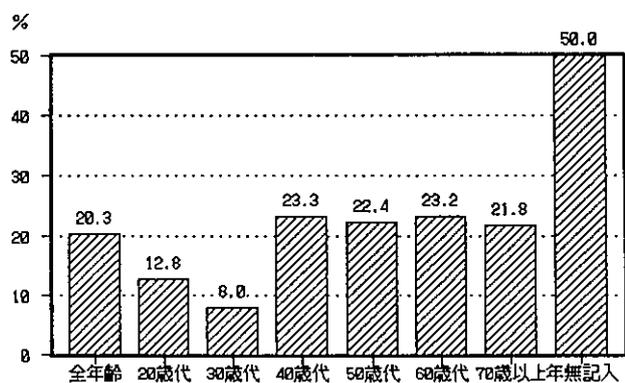
「仕事をする中で健康を保つ法」の回答状況を職業毎に示したものが表IV-1である。団体職員33.3%、自営・商業30.4%の他、無職を含め概ね20%前後となっている。職種固有の疾病についてはこれらのデータでは不明である。またこの性別毎の比率をみると男性14.5%、女性24.5%と女性の方が若干高くなっている。

「食べ物の安全性」について年齢層毎に示すと、図IV-3のようになる。年齢層毎の比率は40歳代の25.6%を最高にしてほぼ年齢全体を通じて16.4%から25.6%の間の幅で、安全性の問題を学習したいという要求がある。20歳代、70歳以上をやや例外として、総じてこれら以外の年齢層で強い健康・安全志向をみることができる。またこれを職業別にみると、食材の生産に直接に携わる農業が15名、漁業が1名（林業は零名）である一方、その他の職業は67名である。この回答者83名に対する比率は農業と漁業が合わせて19.3%、その他の職業が80.7%と後者が高いが、各々の職業毎の比率は、前者が25.0%、後者19.7%と前者の方が若干高い結果となった。食べ物の安全性に関する学習要求は、食材の生産に直接に携わる職業の方がやや強い模様である。また性別毎の比率は男性14.5%、女性25.3%と女性の方が高いといえる。

また、この回答者83名のうち62.7%の52名が、問6（希望する将来の地域像）の選択肢6「緑を保存して、安心して水や野菜・山の幸・海の幸を食べられる地域」に○で回答している。この52名は、問6の選択肢6の回答数206に対して25.2%である。問6の選択肢6の回答者の4分の1が「食べ物の安全性」に関する学習要求を持つことになる。さらには、「問4の選択肢3、問5の選択肢4または選択肢5、問6の選択肢6」の全てに○で回答した「自然環境関心層」88名のうち、「食べ物の安全性」に関する学習要



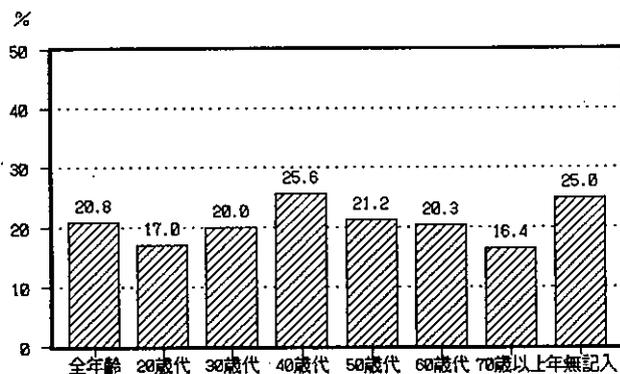
図IV-1 健康体操 (年齢層)



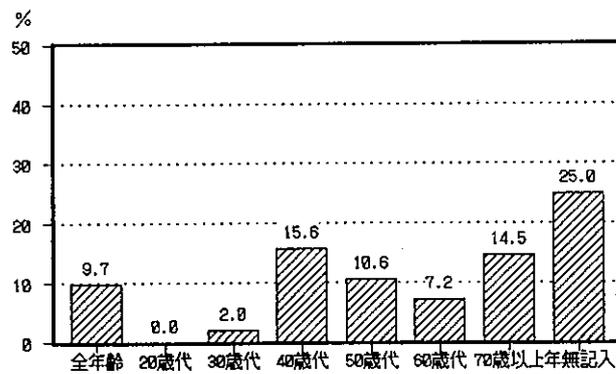
図IV-2 仕事をする中で健康を保つ法 (年齢層)

表IV-1 「仕事をする中で健康を保つ法」(職業)

職業	農業	漁業	林業	自営・商業	自営・工業	自営・サービス業	自由業	会社員	団体職員	公務員	教員	パート勤め	無職	学生	その他	無記入	計
人数	14	0	0	7	3	4	0	16	3	4	1	5	17	0	7	1	82
比率 (%)	22.6	0.0	0.0	30.4	21.4	20.0	0.0	18.0	33.3	21.1	20.0	19.2	19.1	0.0	21.9	50.0	20.3



図IV-3 「食べ物の安全性」(年齢層)



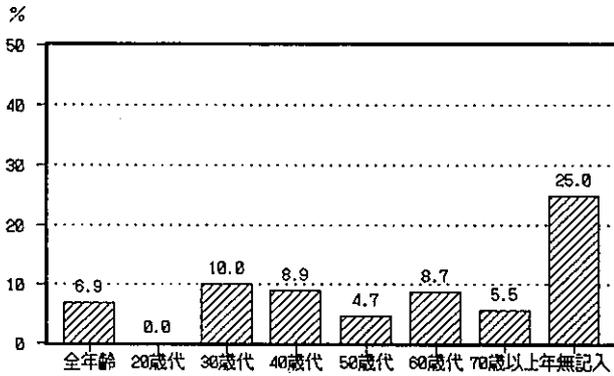
図IV-4 「地域の暮らしのあり方(高齢者福祉など)を考える講座」(年齢層)

求を持つ人は28名で、88名に対して31.8%の比率であった。これは、有効回答総数404に対するこの学習要求の比率20.5%よりも11.3ポイントも高い。以上のことから考えると、全体で2割を越える「食べ物の安全性」の学習要求は、やはり地域で自然環境に関心を持つ多くの層の存在を背景にして出されているものと考えられる。

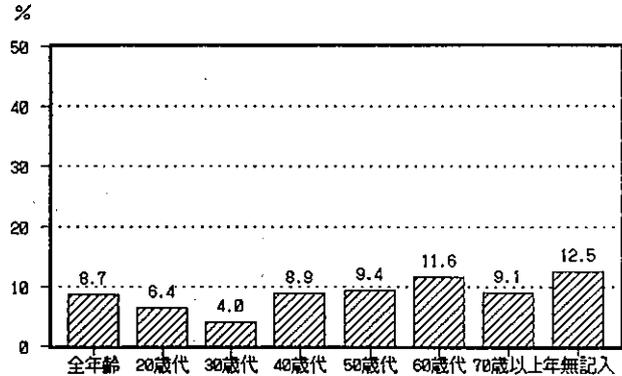
「地域の暮らしのあり方を考える(高齢化社会における福祉など)講座」は、年齢全体の比率が10%に満たず9.7%であるが、図IV-4のように年齢層毎にみると40歳代以上の年齢層に要求がみられる。これを性別にみると男性14名、女性25名と女性の方が高いようにみえるが、性別毎の比率は男性8.8%、女性10.5%とやや女性が高い程度である。

問4、問5および問6で自然環境の保護に関する関心が高かったため、選択肢60「自然環境の保護と開発をめぐる課題」の回答者28名の場合をとりあげて年齢層毎に示すと、図IV-5のようになる。年齢全体では6.9%であり、年齢層毎の比率は30歳代以上の年齢層が4.7%から10.0%の幅で要求がみられる。比較的直接的に自然環境に接する職業である農・漁・林業とその他の職業に分けてこれをみると、前者が5名(漁・林業は零で農業のみ)、後者が23名である。後者が多いようにみえるが、当該職業毎の比率は、前者が8.1%、後者が6.8%であり、大きな差があるとはいえない。自然環境の問題関心を尋ねた問4の選択肢3、問5の選択肢4、問5の選択肢5および問6の選択肢6の各々に○で回答した者のうち、問10で「自然環境と開発をめぐる課題」の学習要求を持つ人の比率は、各々8.5%、12.5%、10.8%、8.7%である。したがって、日常的に自然環境について関心を持つ層の8%台~10%台が、これについて学習要求を持っていることができる。また、「問4の選択肢3、問5の選択肢4または問5の選択肢5、問6の選択肢6」の全てに○で回答した「自然環境問題関心層」88名のうち、この学習要求を持つ人は13名であり、その88名に対する比率は14.8%と比較的高い。

「日頃、自分が考えていることをお互いに話し合う会」という選択肢について年齢層毎にみたものが図IV-6である。年齢層毎の比率は60歳代の11.6%を最高にして、40歳代以上の年齢層に8.9%から11.6%の幅で要求がある。年齢全体では8.7%である。講義や説明を単に聴いて吸収するのみならず、自らの考えや意見を発表し互いに意見交換するような学習についてもまたこうした量の要求が存在する。この回答者35名がどのような事柄を考えているのかを探る一つの指標として問5(不安)での回答状況を見ると、その特徴点は、選択肢9の「何も不安はない」が零である一方、選択肢4「道路や住宅地が整備されて便



図IV-5 自然環境の保護と開発をめぐる課題 (年齢層)



図IV-6 「日頃、自分が考えていることをお互いに話し合う会」 (年齢層)

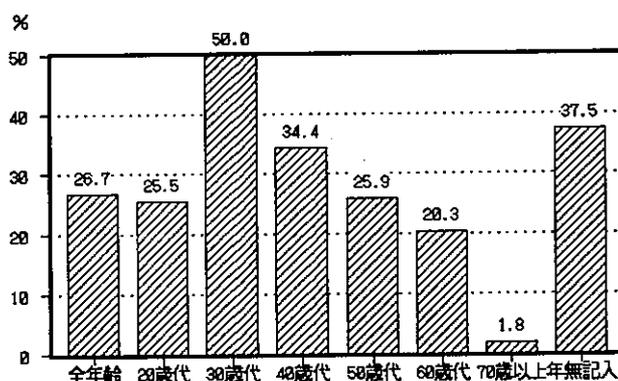
利になったが、山林・自然がこわされていくことが不安」が20名、選択肢5「自然がこわされていくことによって、将来、水不足・土砂崩れ等の災い起きないか不安」が16名、選択肢6「だんだんと、となり近所づきあいがぎすぎすしていくのではない不安」が16名であり、この学習要求回答数35に対する比率は各々57.1%、45.7%、45.7%となり、これらの有効回答総数404に対する各々の当該選択肢回答率である33.7%、25.2%、21.5%よりも高いことである。同様に問5（不安）の選択肢7「道路・商店街やレジャー施設などがなかなか便利にならない」が10名、選択肢「学習・文化活動・スポーツをする場が少ない」が6名で、同じくこの学習要求回答数35に対する比率である各々27.0%、16.8%は有効回答総数404に対する各々の当該選択肢回答率である28.6%、17.1%と大きな差はない。この点に限った推測しかできないが、「日頃、自分が考えていることをお互いに話し合いたい」という人々は、日常の地域生活の中で問5の選択肢4、5、6に関して強い不安あるいは不満を抱いている模様である。

有効回答総数の10.9%の比率であった「農業の生き残る道」の学習希望者44名を職業毎にみると、農業23名、その他の職業21名であり、44名に対する比率は各々52.3%、47.7%であるが、当該職業毎の比率は各々37.1%、6.1%である。非常に厳しい条件におかれている農業の将来について、農業者の37.1%、その他の職業従事者の6.1%が学習要求を持っていることになる。林業については、今回のアンケート回答者の中には林業者は零であったが、林業以外の職業従事者の2.0%が林業の将来について学習要求を持っている。

最後に「ワープロ講習」または「パソコン講習」の学習を希望する層を一括してみると108名で、有効回答総数404に対して26.7%である。これを年齢層毎、職業毎に示したものが各々図IV-7、表IV-2である。これによれば、70歳以上の1.8%を例外として20%を超えており、なかでも30歳代の50.0%、40歳代の34.4%が高い。職業では、50.0%のパート勤め、学生、47.4%の公務員、40.0%の自営・サービス業の高い回答率が注目される。職場環境の「OA化、情報化」の動きに伴う雇用条件等の変化の反映をうかがうことができる。

表IV-2 「ワープロ講習」または「パソコン講習」の学習要求 (職業)

職業	農業	漁業	林業	自営・商業	自営・工業	農・サービス業	自由業	会社員	団体職員	公務員	教員	パート勤め	無職	学生	その他	無記入	計
	7	0	0	8	5	8	2	26	0	9	0	13	19	3	8	0	108
	11.3	0.0	0.0	34.8	35.7	40.0	33.3	29.2	0.0	47.4	0.0	50.0	21.3	50.0	25.0	0.0	26.7



図IV-7 「ワープロ講習」または「パソコン講習」(年齢層)

## 2. 希望する時間帯

次に、学習・文化・スポーツにとりくむにあたって希望する時間帯についてみることにする。アンケートでは問11で3つまでたずねた(複数回答)。この設問に対する回答結果をまとめると表IV-3のようになり、年齢全体に限ってグラフに示すと図IV-8のようになる。

比率の最高は平日夜26.2%であり、第二は土曜日夜22.5%、第三は日曜日午後17.6%であった。この三者を年齢層毎にグラフに示すと各々図IV-9、図IV-10、図IV-11のようになる。

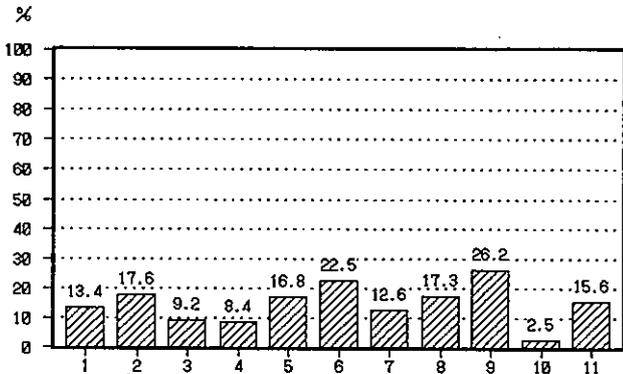
年齢層毎の比率は平日夜の場合、20歳代51.1%を最高にして、30歳代から50歳代にかけて20%台から30%台の幅となっている。日昼になんらかの仕事をしている人が多い層が夜に時間をつくってとりくみたいという要求があることがうかがわれる。この点は、問2に対する回答状況のうち平日の自由時間数の比率が、1～2時間が20.3%、2～3時間が28.0%、3～4時間が12.4%、これら三者の計60.7%であることと関連があるものと思われる。日曜日の前夜である土曜日夜の場合も年齢層毎の比率はほぼ同じ年齢層で24.7%から30.0%の幅となっている。日曜日午後には年齢層毎の比率は20歳代、30歳代が比較的低く、40歳代から60歳代にかけての年齢層で比較的高い結果が現れた。

表IV-3 希望する時間帯

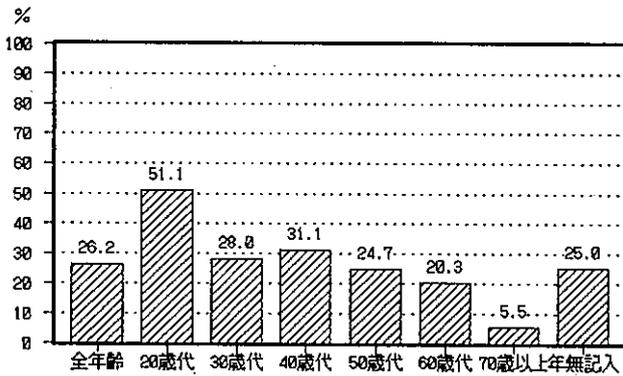
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
20歳代	7 14.9	4 8.5	3 6.4	3 6.4	11 23.4	12 25.5	4 8.5	4 8.5	24 51.1	3 6.4	2 4.3
30歳代	6 12.0	2 4.0	2 4.0	7 14.0	5 10.0	15 30.0	13 26.0	7 14.0	14 28.0	1 2.0	5 10.0
40歳代	16 17.8	21 23.3	11 12.2	11 12.2	15 16.7	26 28.9	7 7.8	14 15.6	28 31.1	3 3.3	6 6.7
50歳代	5 5.9	23 27.1	11 12.9	0 0.0	17 20.0	21 24.7	6 7.1	13 15.3	21 24.7	0 0.0	11 12.9
60歳代	10 14.5	13 18.8	5 7.2	6 8.7	13 18.8	10 14.5	11 15.9	20 29.0	14 20.3	1 1.4	14 20.3
70歳以上	8 14.5	6 10.9	3 5.5	7 12.7	6 10.9	5 9.1	10 18.2	10 18.2	3 5.5	1 1.8	24 43.6
年齢無記入	2 25.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5
計	54 13.4	71 17.6	37 9.2	34 8.4	68 16.8	91 22.5	51 12.6	70 17.3	106 26.2	10 2.5	63 15.6

表Ⅳ-3、図Ⅳ-8の注

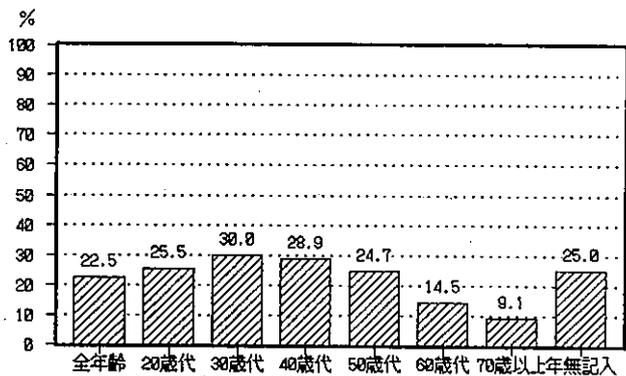
1. 日曜日午前
2. 日曜日午後
3. 日曜日夜（7時～9時）
4. 土曜日午前
5. 土曜日午後
6. 土曜日夜（7時～9時）
7. 平日午前
8. 平日午後
9. 平日夜（7時～9時）
10. その他希望する季節や時間帯
11. 無記入



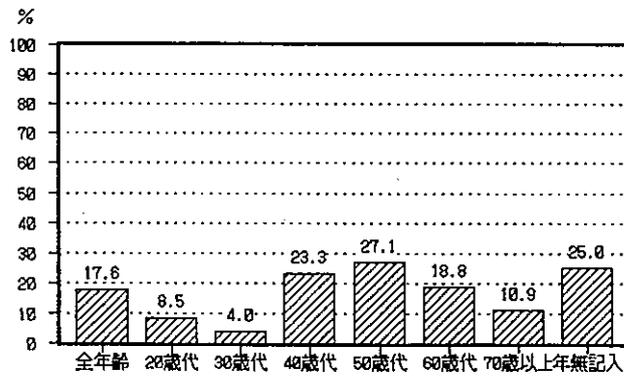
図Ⅳ-8 希望する時間帯（年齢全体）



図Ⅳ-9 平日夜（年齢層）



図Ⅳ-10 土曜日夜（年齢層）



図Ⅳ-11 日曜日午後（年齢層）

まとめ

以上に地域住民の生涯学習要求をとらえる上で、まず最初に理解しなくてはならない基本的な前提条件に関わるいくつかの点にしばって、アンケート票に対する回答状況の基本的構造と特質をみてきた。これらは、今後生涯学習要求の構造と特質を詳細に明らかにするための視点と方法論を得る重要な視点と視角になると考えられる。ここでは、アンケート票調査結果から読みとることのできる地域生涯学習要求の存在構造に関わるいくつかの基本的な点をまとめておきたい。

第一に、本調査研究を通してみえてきた、長尾・大内両町住民の学習要求の最大の特徴は、健康志向および安全志向が著しく強いという点である。学習要求自体をたずねた問10に対する回答状況について既述したように、個人的な趣味、生きがいにとりくみたいという要求は、書道（22.8%）等のごく一部の例外を別として、個別の趣味・生きがい毎に概ね0.3%から約12%の比率の幅で存在する一方、健康および暮らしのなかの安全・安心を確保するための学習に対する要求はこれらより多く、個別に各々約20%の比率で存在する点が注目される。

第二に、これらの学習要求の背景を探るため問4（生きがい）、問5（不安）および問6（希望する将来の地域像）に対する回答状況をみたところ、地域の暮らしのなかで自然環境の恵みを大切にし、気ごころの知れた人と安心して暮らすスタイルを志向する生き方の大きな傾向が明瞭に現れていることである。この点については、年齢、職業、性別で概ね大きな相違がみられないことから、地域の強い生活要求であると考えることができる。

第三には、第一の点と第二の点との関連を確かみることができるという点である。すなわち、学習要求が生まれる背景として、第二の点のような地域における暮らしの志向が確かに存在するのである。特に「食べ物の安全性」の学習要求の場合がこれに相当するが、学習要求が6.9%である「自然環境の保護と開発をめぐる問題」の学習要求の場合も、こうした生活要求の反映をみることができた。

第四には、福祉なかでも高齢者福祉についての生活要求と学習要求が比較的強いという点である。今後、農山漁村地域は一層高齢化すると指摘されているが、こうした事態と動向に対する危機感は確かに存在するということができる。

第五には、現在、時間の余裕がないため学習・文化活動・スポーツにとりくめないが、あきらめてはいない層、あるいはこれほど切実ではないが、何かの都合で時間に余裕が生まれればとりくみたいとする層が、とりくんでない人のうち各々21.3%、36.4%の比率で存在することである。このような声は、一般的にはともすれば顧みられない傾向がある。しかし、こうした層の学習要求に応えるためにも、学習・文化活動・スポーツの機会が整備される時間帯が重要になる。

第六に、第五の点と関わって、問11でたずねた希望する時間帯の回答状況のなかで注目される結果は、休日ではなく平日の夜が最多であり、日曜日の前夜である土曜日の夜が第二に多かった点である。この結果についてさらに詳細に分析する必要があるが、仕事が終わった後の夜にとりくみたいという声が多いことが注目される。

## 資 料

### 1. アンケート調査票と単純集計

\*ただし、数字は人数（単位：人）であり、（ ）内に比率（％）を示した。比率（％）はとくにことわらない限り、有効回答数404に対する比率である。少数点以下第2の位を四捨五入。

\*調査の趣旨およびアンケートへの協力依頼を述べた文章および回答欄の（ ）は省略。

問1 あなたの住んでいる町名・ご職業・年齢・性別について次の中から選んで○をつけてください。

Iの3「回答者の属性」で既述

問2 あなたは、日頃の生活のなかで、仕事・家事や育児の他に、自分で自由に使える時間はだいたいどのくらいありますか。おおよその平均した時間数で、平日（ふだんの仕事・家事・育児等で忙しい日）と休日に分けて、あてはまるものに○をつけてください。

	(単数回答)	
	平日	休日
1. 1時間未満	49(12.1)	14( 3.5)
2. 1時間以上～2時間未満	82(20.3)	32( 7.9)
3. 2時間以上～3時間未満	113(28.0)	48(11.9)
4. 3時間以上～4時間未満	50(12.4)	65(16.1)
5. 4時間以上～5時間未満	37( 9.2)	63(15.6)
6. 5時間以上～6時間未満	25( 6.2)	53(13.1)
7. 6時間以上～7時間未満	6( 1.5)	25( 6.2)
8. 7時間以上	33( 8.2)	86(21.3)
9. 無記入	9( 2.2)	18( 4.5)

問3 あなたは、自分で自由に使える時間にどのようなことをしてすごしていますか。平日と休日に分けて、下の欄から多いものを1つから3つまで選んでその番号を（ ）の中に記入してください。29（その他）のときは29と書いてその内容を書いてください。

	(複数回答)	
	平日	休日
1. テレビ・ラジオ	301(74.5)	178(44.1)
2. 有線テレビ	9( 2.2)	4( 1.0)
3. 自宅で読書	78(19.3)	41(10.1)
4. 図書館（室）で読書	3( 0.7)	5( 1.2)
5. 家族との団らん・子どもや孫の相手	92(22.8)	96(23.8)
6. お茶・お花などのおけいごと	19( 4.7)	11( 2.7)
7. 地域の奉仕活動	8( 2.0)	5( 1.2)
8. 公民館の学級講座	11( 2.7)	3( 0.7)
9. 仲間・友人とのおつきあい	58(14.4)	76(18.8)
10. 仲間・友人との電話	27( 6.7)	10( 2.5)
11. ショッピング	22( 5.4)	88(21.8)
12. 囲碁・将棋	5( 1.2)	6( 1.5)
13. スポーツ	30( 7.4)	35( 8.7)
14. 身の回りの整理・洗車	43(10.6)	81(20.0)
15. 喫茶（一人で）	6( 1.5)	3( 0.7)
16. 仕事や生活に役立つ知識・技術の習得	19( 4.7)	11( 2.7)
17. 音楽・映画やビデオの鑑賞	14( 3.5)	18( 4.5)

18. 園芸・庭いじり	62(15.3)	81(20.0)
19. パチンコ・マージャン・競艇	14( 3.5)	29( 7.2)
20. 俳句・短歌などの文化活動	6( 1.5)	6( 1.5)
21. なんとなくぼんやり過ごす	47(11.6)	45(11.1)
22. 疲れをいやすため休養する	73(18.1)	92(22.8)
23. 加入している団体(同好会・婦人会・ 老人会・青年会など)の会合や行事	25( 6.2)	26( 6.4)
24. 散歩	20( 5.0)	21( 5.2)
25. 釣り	4( 1.0)	26( 6.4)
26. カラオケ	10( 2.5)	8( 2.0)
27. レジャー施設で遊ぶ	2( 0.5)	11( 2.7)
28. ドライブ	3( 0.7)	43(10.6)
29. その他	25( 6.2)	32( 7.9)
30. 無記入	9( 2.2)	13( 3.2)

「29. その他」の主要な記述内容（ことわりのない限り各1名）

○平日・休日の両方

・宗教活動(2名) ・温泉 ・ゲートボール ・コンピュータ ・農作業 ・あんま ・「社労士受  
験準備中」 ・「趣味」

○平日

・お花 ・自営業手伝い ・手芸 ・三味線 ・デイサービス(2名) ・編み物

○休日

・習字 ・手芸 ・洋裁 ・温泉(2名) ・田畑仕事(2名) ・野良仕事 ・書経 ・料理(2名)  
・アマチュア無線

問4 あなたは、いまの〈むら〉や〈まち〉で暮らしていて、どのようなことが生きがいであると感じていますか。  
1つから3つまで選んで○をつけてください。

(複数回答)

1. 住み慣れたところで気ごろの知れた人々のなかで暮らすこと	262(64.9)
2. 子や孫らの家族といっしょに暮らすこと	178(44.1)
3. 自然やささいな空気・水に恵まれて暮らすこと	236(58.4)
4. いまの仕事にはりあいがある	115(28.5)
5. 地域の年中行事(お祭り・太鼓等)を支えていくこと	15( 3.7)
6. 趣味	134(33.2)
7. 生きがいはない	21( 5.2)
8. その他(なるべく具体的に書いてください)	9( 2.2)
9. 無記入	2( 0.5)

「8. その他」の主要な記述内容

- ・「親から受けつぐ家・土地を子・孫へと受けついでいくこと」(長尾・20歳代・男性)
- ・「両親を支え、子どもを成人させ、社会の役に立つよう自立させること」(大内・40歳代・女性)
- ・「一日も早く子どもをつくり、住みやすい環境の中で暮らすこと」(長尾・20歳代・女性)
- ・「子どもの成長」(大内・40歳代・女性)

問5 あなたは、いま暮らしている〈むら〉や〈まち〉でこのままずっと暮らしていく上で何か不安なことがありますか。いくつでも○をつけてください。

	(複数回答)
1. 若い人がだんだん他の地域に移り住んで、〈むら〉や〈まち〉の人口が減っていくこと	95(23.5)
2. 年をとって一人住まいになると、からだが不自由になったり、病気になってしまったとき、介護をしてくれる人がいるかどうか不安	167(41.3)
3. 親が高齢になったとき、十分に介護できるかどうか不安	109(27.0)
4. 道路や住宅地が整備されて便利になったが、これにともない山林や自然がこわされていくことが不安	136(33.7)
5. 自然がこわされていくことによって、将来、水不足・土砂崩れなどの災いが起きないか不安	102(25.2)
6. だんだんと、となり近所づきあいがぎすぎすしていくのではないかと不安	87(21.5)
7. 道路・商店街やレジャー施設などがなかなか便利にならない	109(27.0)
8. 学習・文化活動・スポーツをする場が少ない	68(16.8)
9. 何も不安はない	35( 8.7)
10. その他(できればなるべく具体的に書いてください)	26( 6.4)
11. 無記入	5( 1.2)

〔10. その他〕の主要な記述内容

- ・商業の活性化を要望する(長尾・20歳代・会社員)
- ・「土地の出身でないため、趣味をしたくても仲間の中にとけこみにくい」(長尾・60歳代)
- ・「海・川の汚染が不安」(長尾・40歳代・公務員)
- ・「廃棄物溶融施設ができて、公害が出るのではと不安」(長尾・50歳代・農業)
- ・「大型スーパーの進出で、旧商店通りがだんだんさびれて淋しい」(長尾・70歳以上・自営・商業)
- ・「高齢時に徒歩で通える範囲に総合病院がほしい」(長尾・50歳代・公務員)
- ・「病院(総合病院・耳鼻科)がない」(長尾・40歳代・主婦)
- ・「中小商工業の衰退」(大内・60歳代・自営・商業)
- ・「車の増加と運転マナーの悪さで安全が不十分」(大内・60歳代)
- ・「交通が不便」(大内で3名=60歳代・無職が2名、30歳代・無職が1名)
- ・「近所が冷たい」(大内・70歳以上・農業)
- ・「肉体労働者不足で事業の将来が不安定」(大内・50歳代・自営・商業)
- ・「塾通いで、子どもたちをとりまく環境が不安」(大内・40歳代)
- ・「託児施設のある施設、児童館等の整備を要望」(大内・30歳代・保母)

問6 あなたは、いま暮らしている〈むら〉や〈まち〉が将来どのようなようになってほしいと思いますか。1つから2つまで選んで○をつけてください。

	(複数回答)
1. いまある農業・漁業・林業がしっかりした地域	49(12.1)
2. 工業を中心とした地域	9( 2.2)
3. 商業を中心とした地域	10( 2.5)
4. リゾート地・ゴルフ場のある観光の地域	8( 2.0)
5. 農業・漁業・林業・商業・工業の調和のとれた地域	115(28.5)
6. 緑を保存して、安心して水や野菜・山の幸・海の幸を食べられる地域	206(51.0)
7. 住宅地を増やしてもっとにぎわいのある地域 (そのためには山林が減ってもやむをえない)	13( 3.2)
8. 福祉のゆきとどいた地域	192(47.5)
9. わずらわしい村の古い慣習・しきたりや規制がなくなってほしい	85(21.0)
10. 文化的行事や催しが増えてほしい	44(10.9)
11. いまのままが一番よい	24( 5.9)
12. その他(具体的に )	4( 1.0)
13. 無記入	6( 1.5)

「12. その他」の主要な記述内容

- ・「〔「選択肢1」に○をつけた上で〕若者に好かれる町づくり（娯楽・スポーツランド等）」  
(長尾・20歳代・男性)
- ・「祭は統廃合してほしい」(長尾・40歳代・男性)
- ・「誰もが社会体育・社会教育の場に気軽に参加できる町」(大内・50歳代・男性)
- ・「70歳以上の者は1ヶ所に集まって適当な作業をして、悠々自適な生活ができるように」  
(大内・40歳代・女性)
- ・「交通の便のいいところにしてほしい」(大内・30歳代・女性)

問7 あなたは、いま、なにか学習・文化活動・スポーツを行っていますか（一人で学習・文化活動・スポーツを行う場合を含みます）。どちらかに○をつけてください。

(単数回答)

1. 行っている 142(35.1)                      3. 無記入 4(1.0)  
2. 行っていない 258(63.9)

問8 前の問で〈行っている〉と答えた方にお聞きします。どのような学習・文化活動・スポーツを行っていますか。下の( )のなかに書いて、その後ろに、行っているところ(場所・機関)を下の欄から選んで番号を書いてください(複数ある場合はすべて記入してください)。

(複数回答)

(例) ( 陶芸 ) (場所・機関=1)、(バレーボール) (場所・機関=4、6)

行っているところ(場所・機関)を選ぶ欄

- |   |                           |              |            |        |
|---|---------------------------|--------------|------------|--------|
| 1. 公民館で                                     | 2. 図書館(室)で                | 3. 働く婦人の家で   | 4. スポーツ施設で | 5. 自宅で |
| 6. 加入している団体(同好会・婦人会・老人会・青年会・ボランティアのグループなど)で |                           |              |            |        |
| 7. 民間のカルチャーセンターで                            | 8. 大学開放講座で                | 9. 放送大学を利用して |            |        |
| 10. 一人で                                     | 11. その他(内容をかっこの中に書いてください) |              |            |        |

○行っている内容

A 芸術関係

- ・書道 12(3.0) ・お花 11(2.7) ・お茶 9(2.2) ・編み物 5(1.2) ・習字 4(1.0) ・カラオケ 4(1.0)
- ・押し花 2(0.5) ・絵画 2(0.5) ・琴 2(0.5) ・手芸 3(0.7) ・太鼓 3(0.7) ・短歌 3(0.7)
- ・俳句 3(0.7) ・川柳 2(0.5) ・陶芸 2(0.5) ・日本舞踊 3(0.7) ・エレクトーン 1(0.2)
- ・折り紙教室 1(0.2) ・染色 1(0.2) ・俳画 1(0.2) ・表具 1(0.2) ・フラワー・アレンジメント 1(0.2)
- ・押し絵 1(0.2) ・コーラス 1(0.2) ・小物づくり 1(0.2) ・三味線 1(0.2) ・詩吟 1(0.2)
- ・獅子舞 1(0.2) ・影絵 1(0.2) ・箪手芸や箪工芸 2(0.5)

B スポーツあるいは身体を動かすこと

- ・バレーボール 19(4.7) ・ヨガ 10(2.5) ・ゲートボール 8(2.0) ・ゴルフ 8(2.0) ・水泳 6(1.5)
- ・ソフトボール 6(1.5) ・バドミントン 5(1.2) ・エアロビクス 4(1.0) ・体操や健康体操 3(0.7)
- ・野球 3(0.7) ・トレーニングジム 2(0.5) ・ウインドサーフィン 1(0.2) ・競歩 1(0.2)
- ・サッカー 1(0.2) ・散歩 1(0.2) ・サイクリング 2(0.5) ・柔道 1(0.2) ・ジョギング 1(0.2)
- ・卓球 2(0.5) ・テニス 7(1.7) ・バスケットボール 1(0.2) ・パラグライダー 1(0.2) ・武道 1(0.2)
- ・ボーリング 1(0.2) ・インディアカ 1(0.2) ・ダイビング 1(0.2)

C 語学

- ・英会話 2(0.5) ・中国語 1(0.2) ・「語学」 1(0.2)

D 生活・仕事に役立てるため

- ・資格取得のための学習 3(0.7) ・料理 3(0.7) ・仕事に役立つ知識・技能の習得 1(0.2) ・パン教室 1(0.2)
- ・洋裁 1(0.2) ・保健所栄養教室 1(0.2)

地域生涯学習要求の存在構造

E 社会とのつながり

・ボランティア 3(0.7) ・高齢者福祉 2(0.5) ・「人権問題(同和問題を含む)」 1(0.2) ・婦人会活動 1(0.2) ・看護についての講演 1(0.2) ・「例会の客話」 1(0.2)

F その他

・コンピュータ 3(0.7) ・読書 3(0.7) ・座禅 1(0.2) ・囲碁 1(0.2) ・聖書の勉強 1(0.2) ・通信教育 1(0.2) ・一人で学習 1(0.2) ・放送大学の受講 1(0.2) ・生涯学習教育講座の受講 1(0.2) ・将棋 1(0.2) ・釣り 1(0.2) ・天文 1(0.2)

○行っている場所・機関

1. 公民館で	41(10.1)
2. 図書館(室)で	1(0.2)
3. 働く婦人の家で	4(1.0)
4. スポーツ施設で	61(15.1)
5. 自宅で	26(6.4)
6. 加入している団体で	73(18.1)
7. 民間のカルチャーセンターで	10(2.5)
8. 大学開放講座で	1(0.2)
9. 放送大学を利用して	2(0.5)
10. 一人で	12(3.0)
11. その他	33(8.2)

問9 問7で〈行っていない〉と答えた方にお聞きします。どのような事情や理由から学習・文化活動・スポーツを行っていないのですか。1つから2つまで選んで○をつけてください。

\* ( )内の比率(%)は問7で「行っていない」とした回答者数258に対する比率

(複数回答)

1. そういう〈気晴らし〉のようなことは春秋のお祭りや正月の行事で十分である。 ふだんは〈くまめ〉に働くことが人の暮らし方であると思う。	20(7.8)
2. 関心がない。	32(12.4)
3. 関心は少しはあるが、時間の余裕がないため、とくに努めて学習・文化活動・スポーツをするための時間をつくろうとは思わない。	33(12.8)
4. 関心は少しはあるが、時間の余裕がない。しかし、何かの都合で時間ができれば、行ってみたいと思う時もある。	94(36.4)
5. 関心は大いにあるが、時間の余裕がない。しかし、あきらめてはいない。	55(21.3)
6. 関心はあるが、家族や近所の人たちの理解がないので、出かけられない。	8(3.1)
7. 関心はあるが、託児所が用意されていないので、出かけられない。	8(3.1)
8. 関心はあるが、友だちがいない。	37(14.3)
9. その他	38(14.7)
10. 無記入	7(2.7)

「9. その他」の主要な記述内容

・「病気療養のため」	6名
・「身体が不自由なため」	4名
・「高齢のため」	3名
・「仕事・勤務の都合」	4名(会社員2名、看護婦1名、縫製1名)
・「通う交通手段が不便」	4名
・「関心はあるが、元気がない」	4名
・「家族の介護のため」	2名
・「人間関係でいやになる」	1名

問10 すべての方にお聞きします。なんとか時間をやりくりしてでも行ってみたい学習・文化活動・スポーツは、どんなことですか。とりくんでみたいものを下の欄から選び、番号のところにくつつでも○をつけてください。希望するものが下の欄にない場合は、79（その他）に希望内容を書いてください。とりくんでみたいと思わない人は80（とりくみたくないと思わない）に○をつけてください。

(複数回答)

〈趣味や生きがい〉			
1. 日本舞踊	12( 3.0)	15. 陶芸	38( 9.4)
2. 新舞踊	3( 0.7)	16. 絵画	24( 5.9)
3. 民舞	8( 2.0)	17. 水墨画	18( 4.5)
4. 茶道	28( 6.9)	18. ちぎり絵	16( 4.0)
5. 華道	49(12.1)	19. コーラス	10( 2.5)
6. 書道	92(22.8)	20. 自分史	9( 2.2)
7. 詩吟	9( 2.2)	21. 木彫り	20( 5.0)
8. 写真	29( 7.2)	22. 人形劇の鑑賞	6( 1.5)
9. 盆栽	51(12.6)	23. 草木染め	20( 5.0)
10. スケアダンス	2( 0.5)	24. 太鼓	10( 2.5)
11. 尺八	1( 0.3)	25. 小説・詩・短歌や俳句などの 文芸作品の鑑賞	23( 5.7)
12. 和紙人形づくり	10( 2.5)	26. 小説・詩・短歌や俳句などの 文芸作品の創作	20( 5.0)
13. 大正琴	18( 4.5)		
14. 手芸	51(12.6)		
〈健康づくりのため〉			
27. 健康体操	88(21.8)	36. 筋力トレーニング	39( 9.7)
28. リズム体操	13( 3.2)	37. ゲートボール	14( 3.5)
29. 卓球	29( 7.2)	38. 野球	13( 3.2)
30. バドミントン	32( 7.9)	39. 水泳	50(12.4)
31. ソフトボール	20( 5.0)	40. サッカー	4( 1.0)
32. バレーボール	28( 6.9)	41. ゴルフ	30( 7.4)
33. バスケットボール	7( 1.7)	42. 仕事をする中で健康を保つ法 (腰痛・貧血などを防いだり治 したりする法)	82(20.3)
34. ヨーガ	44(10.9)		
35. エアロビクス	22( 5.5)		
〈教養を深めるため〉			
43. 歴史講座 (世界史・日本史・郷土史など)	63(15.6)	44. 伝統芸能	24( 5.9)
〈外国語講座〉			
45. 中国語	29( 7.2)	50. フランス語	8( 2.0)
46. ハンゲル語	3( 0.7)	51. ドイツ語	11( 2.7)
47. ポルトガル語	1( 0.3)	52. イラン語	0( 0.0)
48. タガログ語	1( 0.3)	53. その他	6( 1.5)
49. 英語	97(24.0)		
〈生活に役立てるため〉			
54. 着付け	47(11.6)	61. 水不足にならないための課題	13( 3.2)
55. 洋裁	27( 6.7)	62. 食べ物の安全性 (農薬・食品添加物等について)	83(20.5)
56. 料理	109(27.0)	63. ゴミ問題	41(10.2)
57. 年金や生活設計に関する知識	46(11.4)	64. 対人関係(問題)	26( 6.4)
58. 消費者保護に関する知識	11( 2.7)	65. 子ども・青年の教育問題	30( 7.4)
59. 地域の暮らしのあり方を考える (高齢化社会における福祉など) 講座	39( 9.7)	66. 日頃、自分が考えていることを お互いに話し合う会	35( 8.7)
60. 自然環境の保護と開発をめぐる課題	28( 6.9)		

地域生涯学習要求の存在構造

〈仕事や職業に役立てるため〉

67. 農業の生き残る道 (将来展望)	44(10.9)	71. 工場の生き残る道 (将来展望)	20( 5.0)
68. 漁業の生き残る道 (将来展望)	2( 0.5)	72. 自営商店の生き残る道 (将来展望)	29( 7.2)
69. 漁業技術の研究 (魚群探知機や漁法の開発など)	1( 0.3)	73. 景気の動き	71(17.6)
70. 林業の生き残る道 (将来展望)	8( 2.0)		
〈社会問題を深くとらえるため〉			
74. 政治・経済の国際的・国内的動き	66(16.3)	75. 脳死や臓器移植の問題	30( 7.4)
〈その他〉			
76. 手話	35( 8.7)	79. その他	17( 4.2)
77. ワープロ講習	68(16.8)	80. とりくみたいと思わない	24( 5.9)
78. パソコン講習	63(15.6)	81. 無記入	0( 0.0)

◎「53. その他の外国語」

・タイ語1名 ・スペイン語2名 ・イタリア語1名 ・日本語1名 ・無記入1名

◎「79. その他」

・ベン習字 ・「科学や宇宙の話」 ・釣り ・釣り教室 ・皮作品人形づくり ・テニス ・ウォーキング ・ボクシング ・パラグライダー ・剣道 ・刀剣、武具の鑑賞 ・園芸、庭いじり ・園芸（一坪農園） ・謡曲 （以上各1名）

問11 学習・文化・スポーツの講座（実技を含む）を受講する場合、どの時間帯を希望しますか。下から3つ選んで○をつけてください。

（複数回答）

1. 日曜日午前	54(13.4)
2. 日曜日午後	71(17.6)
3. 日曜日夜（7時～9時）	37( 9.2)
4. 土曜日午前	34( 8.4)
5. 土曜日午後	68(16.8)
6. 土曜日夜（7時～9時）	91(22.5)
7. 平日午前	51(12.6)
8. 平日午後	70(17.3)
9. 平日夜（7時～9時）	106(26.2)
10. その他希望する季節や時間帯	10( 2.5)
11. 無記入	63(15.6)

「10. その他希望する季節や時間帯」の主要な記述内容

- ・「休日となった平日」（会社員）
  - ・「休日の午前中（日曜とは限らない）」（自営・サービス業）
  - ・「自営上の休日の夜」（自営・商業）
  - ・「短期（2ヶ月～3ヶ月）の平日夜」（看護婦）
  - ・「第2土曜日の夜」（公務員）
  - ・「秋冬」（農業）
  - ・「子どもの夏・冬・春休み中」（自営・商業・女性）
- （以上各1名）

## 2. 補足集計表

以下の補足集計表における数字は上段が人数（単位：人）、下段が有効回答数404に対する比率（％）である。ただし、年齢層毎に示した比率（％）は各年齢層毎の有効回答数に対する比率であり、性別毎に示した比率（％）は各性別毎の有効回答数に対する比率である。少数点以下第2の位を四捨五入した。すべて長尾・大内両町の回答者を合算した数字である。

回答者の年齢層と職業（問1・男性・単数回答）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	計
20 歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 69.2	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0	13 100.0
30 歳代	1 5.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6	1 5.6	1 5.6	0 0.0	8 44.4	0 0.0	5 27.8	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 100.0
40 歳代	3 8.6	1 2.9	0 0.0	4 11.4	3 8.6	3 8.6	2 5.7	13 37.1	1 2.9	4 11.4	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	35 100.0
50 歳代	2 5.4	0 0.0	0 0.0	3 8.1	1 2.7	6 16.2	1 2.7	19 51.4	1 2.7	2 5.4	0 0.0	0 0.0	1 2.7	0 0.0	1 2.7	0 0.0	37 100.0
60 歳代	10 32.3	0 0.0	0 0.0	3 9.7	2 6.5	4 12.9	1 3.2	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 29.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	31 100.0
70 歳以上	9 75.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0	12 100.0
年齢無記入	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0
計	26 16.4	1 0.6	0 0.0	12 7.5	8 5.0	14 8.8	4 2.5	49 30.8	4 2.5	11 6.9	3 1.9	0 0.0	19 11.9	3 1.9	5 3.1	0 0.0	159 100.0

回答者の年齢層と職業（問1・女性・単数回答）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	計
20 歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.9	0 0.0	2 5.9	1 2.9	11 32.4	1 2.9	1 2.9	1 2.9	2 5.9	4 11.8	3 8.8	5 14.7	1 2.9	34 100.0
30 歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	7 21.9	1 3.1	1 3.1	1 3.1	5 15.6	11 34.4	0 0.0	4 12.5	1 3.1	32 100.0
40 歳代	6 10.9	0 0.0	0 0.0	3 5.5	1 1.8	3 5.5	0 0.0	13 23.6	2 3.6	4 7.3	0 0.0	9 16.4	5 9.1	0 0.0	9 16.4	0 0.0	55 100.0
50 歳代	6 12.8	1 2.1	0 0.0	3 6.4	2 4.3	1 2.1	0 0.0	8 17.0	1 2.1	2 4.3	0 0.0	5 10.6	12 25.5	0 0.0	6 12.8	0 0.0	47 100.0
60 歳代	8 21.6	0 0.0	0 0.0	1 2.7	1 2.7	0 0.0	0 0.0	1 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 10.8	21 56.8	0 0.0	1 2.7	0 0.0	37 100.0
70 歳以上	11 37.9	0 0.0	0 0.0	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 51.7	0 0.0	2 6.9	0 0.0	29 100.0
年齢無記入	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
計	32 13.5	1 0.4	0 0.0	10 4.2	5 2.1	6 2.5	2 0.8	40 16.9	5 2.1	8 3.4	2 0.8	25 10.5	69 29.1	3 1.3	27 11.4	2 0.8	237 100.0

\*ただし、性別無記入8名は省いた。

注

1. 農業 2. 漁業 3. 林業 4. 自営・商業 5. 自営・工業 6. 自営・サービス業 7. 自由業  
8. 会社員 9. 団体職員 10. 公務員 11. 教員 12. パート勤め 13. 無職 14. 学生 15. その他  
16. 無記入

地域生涯学習要求の存在構造

自由時間の過ごし方（問3・平日・複数回答）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
20 歳代	34 72.3	1 2.1	10 21.3	2 4.3	10 21.3	9 19.1	0 0.0	0 0.0	11 23.4	11 23.4	1 2.1	0 0.0	4 8.5	2 4.3	2 4.3	3 6.4	7 14.9	0 0.0	2 4.3	0 0.0
30 歳代	45 90.0	0 0.0	15 30.0	1 2.0	16 32.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	9 18.0	2 4.0	4 8.0	0 0.0	4 8.0	6 12.0	0 0.0	1 2.0	3 6.0	1 2.0	4 8.0	0 0.0
40 歳代	66 73.3	5 5.6	16 17.8	0 0.0	28 31.1	1 1.1	1 1.1	2 2.2	10 11.1	8 8.9	8 8.9	1 1.1	10 11.1	10 11.1	0 0.0	7 7.8	2 2.2	6 6.7	5 5.6	2 2.2
50 歳代	68 80.0	0 0.0	11 12.9	0 0.0	20 23.5	2 2.4	1 1.2	7 8.2	3 3.5	3 3.5	7 8.2	0 0.0	8 9.4	10 11.8	2 2.4	3 3.5	0 0.0	15 17.6	3 3.5	0 0.0
60 歳代	50 72.5	1 1.4	15 21.7	0 0.0	12 17.4	4 5.8	3 4.3	1 1.4	8 11.6	1 1.4	1 1.4	2 2.9	3 4.3	8 11.6	1 1.4	3 4.3	1 1.4	26 37.7	0 0.0	1 1.4
70 歳以上	34 61.8	2 3.6	10 18.2	0 0.0	5 9.1	2 3.6	1 1.8	1 1.8	15 27.3	2 3.6	1 1.8	2 3.6	1 1.8	5 9.1	1 1.8	2 3.6	0 0.0	13 23.6	0 0.0	3 5.5
年齢無記入	4 50.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
計	301 74.5	9 2.2	78 19.3	3 0.7	92 22.8	19 4.7	8 2.0	11 2.7	58 14.4	27 6.7	22 5.4	5 1.2	30 7.4	43 10.6	6 1.5	19 4.7	14 3.5	62 15.3	14 3.5	6 1.5

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
20 歳代	9 19.1	9 19.1	2 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	3 6.4	0 0.0
30 歳代	9 18.0	9 18.0	3 6.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
40 歳代	15 16.7	17 18.9	2 2.2	3 3.3	1 1.1	2 2.2	0 0.0	0 0.0	2 2.2	0 0.0
50 歳代	7 8.2	17 20.0	3 3.5	4 4.7	0 0.0	3 3.5	1 1.2	1 1.2	9 10.6	2 2.4
60 歳代	4 5.8	8 11.6	5 7.2	6 8.7	3 4.3	4 5.8	1 1.4	1 1.4	5 7.2	2 2.9
70 歳以上	3 5.5	11 20.0	8 14.5	6 10.9	0 0.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	5 9.1	4 7.3
年齢無記入	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5
計	47 11.6	73 18.1	25 6.2	20 5.0	4 1.0	10 2.5	2 0.5	3 0.7	25 6.2	9 2.2

注

1. テレビ・ラジオ
2. 有線テレビ
3. 自宅で読書
4. 図書館（室）で読書
5. 家族との団らん・子どもや孫の相手
6. お茶・お花などのおけいごと
7. 地域の奉仕活動
8. 公民館の学級講座
9. 仲間・友人とのおつきあい
10. 仲間・友人との電話
11. ショッピング
12. 囲碁・将棋
13. スポーツ
14. 身の回りの整理・洗車
15. 喫茶（一人で）
16. 仕事や生活に役立つ知識・技能の習得
17. 音楽・映画やビデオの鑑賞
18. 園芸・庭いじり
19. パチンコ・マージャン・競艇
20. 俳句・短歌などの文化活動
21. なんとなくぼんやり過ごす
22. 疲れをいやすため休養する
23. 加入している団体（同好会・婦人会・老人会・青年会など）の会合や行事
24. 散歩
25. 釣り
26. カラオケ
27. レジャー施設で遊ぶ
28. ドライブ
29. その他
30. 無記入

自由時間のすごし方 (問3・休日・複数回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
20 歳代	14 29.8	0 0.0	7 14.9	3 6.4	6 12.8	2 4.3	0 0.0	0 0.0	17 36.2	2 4.3	17 36.2	0 0.0	8 17.0	11 23.4	0 0.0	1 2.1	11 23.4	1 2.1	3 6.4	0 0.0
30 歳代	18 36.0	0 0.0	3 6.0	0 0.0	23 46.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	14 28.0	2 4.0	19 38.0	0 0.0	4 8.0	12 24.0	0 0.0	1 2.0	4 8.0	2 4.0	5 10.0	0 0.0
40 歳代	44 48.9	3 3.3	7 7.8	1 1.1	23 25.6	3 3.3	0 0.0	0 0.0	16 17.8	1 1.1	20 22.2	1 1.1	9 10.0	26 28.9	0 0.0	2 2.2	1 1.1	18 20.0	11 12.2	1 1.1
50 歳代	37 43.5	0 0.0	5 5.9	1 1.2	19 22.4	1 1.2	1 1.2	2 2.4	8 9.4	0 0.0	17 20.0	2 2.4	7 8.2	20 23.5	2 2.4	4 4.7	2 2.4	26 30.6	7 8.2	2 2.4
60 歳代	31 44.9	0 0.0	11 15.9	0 0.0	17 24.6	2 2.9	0 0.0	0 0.0	8 11.6	2 2.9	12 17.4	1 1.4	4 5.8	5 7.2	0 0.0	2 2.9	0 0.0	19 27.5	2 2.9	2 2.9
70 歳以上	32 58.2	1 1.8	5 9.1	0 0.0	7 12.7	2 3.6	1 1.8	1 1.8	11 20.0	3 5.5	1 1.8	2 3.6	2 3.6	7 12.7	1 1.8	0 0.0	0 0.0	15 27.3	1 1.8	1 1.8
年齢無記入	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計	178 44.1	4 1.0	41 10.1	5 1.2	96 23.8	11 2.7	5 1.2	3 0.7	76 18.8	10 2.5	88 21.8	6 1.5	35 8.7	81 20.0	3 0.7	11 2.7	18 4.5	81 20.0	29 7.2	6 1.5

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
20 歳代	7 14.9	13 27.7	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 6.4	10 21.3	4 8.5	0 0.0
30 歳代	9 18.0	8 16.0	1 2.0	0 0.0	6 12.0	1 2.0	3 6.0	6 12.0	2 4.0	0 0.0
40 歳代	10 11.1	29 32.2	7 7.8	5 5.6	8 8.9	0 0.0	2 2.2	3 3.3	3 3.3	0 0.0
50 歳代	6 7.1	17 20.0	6 7.1	4 4.7	3 3.5	4 4.7	1 1.2	13 15.3	10 11.8	2 2.4
60 歳代	8 11.6	9 13.0	4 5.8	5 7.2	8 11.6	3 4.3	1 1.4	8 11.6	7 10.1	6 8.7
70 歳以上	5 9.1	16 29.1	5 9.1	7 12.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	5 9.1	5 9.1
年齢無記入	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0
計	45 11.1	92 22.8	26 6.4	21 5.2	26 6.4	8 2.0	11 2.7	43 10.6	32 7.9	13 3.2

注

1. テレビ・ラジオ 2. 有線テレビ 3. 自宅で読書 4. 図書館(室)で読書 5. 家族との団らん・子どもや孫の相手 6. お茶・お花などのおけいごと 7. 地域の奉仕活動 8. 公民館の学級講座 9. 仲間・友人とのおつきあい 10. 仲間・友人との電話 11. ショッピング 12. 囲碁・将棋 13. スポーツ 14. 身の回りの整理・洗車 15. 喫茶(一人で) 16. 仕事や生活に役立つ知識・技能の習得 17. 音楽・映画やビデオの鑑賞 18. 園芸・庭いじり 19. パチンコ・マージャン・競艇 20. 俳句・短歌などの文化活動 21. なんとなくぼんやり過ごす 22. 疲れをいやすため休養する 23. 加入している団体(同好会・婦人会・老人会・青年会など)の会合や行事 24. 散歩 25. 釣り 26. カラオケ 27. レジャー施設で遊ぶ 28. ドライブ 29. その他 30. 無記入

地域生涯学習要求の存在構造

どのような学習・文化活動・スポーツを望むか（問10）その1（複数回答）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
20歳代	2 4.3	0 0.0	0 0.0	4 8.5	8 17.0	12 25.5	1 2.1	3 6.4	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 14.9	4 8.5	3 6.4	1 2.1	0 0.0	1 2.1	0 0.0
30歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0	8 16.0	4 8.0	0 0.0	3 6.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 6.0	0 0.0	9 18.0	6 12.0	2 4.0	1 2.0	2 4.0	1 2.0	0 0.0
40歳代	2 2.2	0 0.0	1 1.1	8 8.9	8 8.9	22 24.4	1 1.1	8 8.9	7 7.8	0 0.0	0 0.0	3 3.3	2 2.2	14 15.6	13 14.4	11 12.2	5 5.6	5 5.6	3 3.2	2 2.2
50歳代	3 3.5	0 0.0	1 1.2	7 8.2	9 10.6	23 27.1	3 3.5	8 9.4	17 20.0	2 2.4	1 1.2	2 2.4	9 10.6	11 12.9	11 12.9	2 2.4	4 4.7	4 4.7	3 3.5	2 2.4
60歳代	5 7.2	2 2.9	6 8.7	4 5.8	8 11.6	20 29.0	3 4.3	5 7.2	17 24.6	0 0.0	0 0.0	2 2.9	6 8.7	4 5.8	3 4.3	4 5.8	5 7.2	3 4.3	2 2.9	2 2.9
70歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.6	5 9.1	7 12.7	1 1.8	1 1.8	7 12.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	6 10.9	0 0.0	1 1.8	1 1.8	1 1.8	0 0.0	3 5.5
年 齢 無記入	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	3 37.5	4 50.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
計	12 3.0	3 0.7	8 2.0	28 6.9	49 12.1	92 22.8	9 2.2	29 7.2	51 12.6	2 0.5	1 0.2	10 2.5	18 4.5	51 12.6	38 9.4	24 5.9	18 4.5	16 4.0	10 2.5	9 2.2

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
20歳代	1 2.1	0 0.0	1 2.1	0 0.0	3 6.4	3 6.4	3 6.4	2 4.3	4 8.5	5 10.6	2 4.3	6 12.8	2 4.3	3 6.4	11 23.4	5 10.6	0 0.0	0 0.0	10 21.3	1 2.1
30歳代	2 4.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	3 6.0	0 0.0	8 16.0	0 0.0	1 2.0	7 14.0	3 6.0	5 10.0	2 4.0	6 12.0	5 10.0	8 16.0	0 0.0	3 6.0	13 26.0	0 0.0
40歳代	4 4.4	2 2.2	4 4.4	3 3.3	4 4.4	8 8.9	18 20.0	5 5.6	9 10.0	15 16.7	6 6.7	11 12.2	2 2.2	7 7.8	4 4.4	12 13.3	2 2.2	5 5.6	15 16.7	2 2.2
50歳代	6 7.1	2 2.4	9 10.6	2 2.4	5 5.9	3 3.5	23 27.1	3 3.5	7 8.2	2 2.4	6 7.1	3 3.5	0 0.0	15 17.6	1 1.2	7 8.2	1 1.2	1 1.2	8 9.4	0 0.0
60歳代	4 5.8	1 1.4	1 1.4	4 5.8	4 5.8	4 5.8	21 30.4	3 4.3	6 8.7	3 4.3	3 4.3	1 1.4	0 0.0	8 11.6	0 0.0	2 2.9	3 4.3	3 4.3	3 4.3	0 0.0
70歳以上	1 1.8	0 0.0	3 5.5	0 0.0	4 7.3	0 0.0	12 21.8	0 0.0	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.3	0 0.0	2 3.6	8 14.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年 齢 無記入	2 25.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5
計	20 5.0	6 1.5	20 5.0	10 2.5	23 5.7	20 5.0	88 21.8	13 3.2	29 7.2	32 7.9	20 5.0	28 6.9	7 1.7	44 10.9	22 5.4	39 9.7	14 3.5	13 3.2	50 12.4	4 1.0

	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
20歳代	2 4.3	6 12.8	6 12.8	1 2.1	4 8.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	21 44.7	4 8.5	4 8.5	0 0.0	2 4.3	7 14.9	7 14.9	20 42.6	4 8.5	1 2.1	0 0.0	0 0.0
30歳代	3 6.0	4 8.0	4 8.0	0 0.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	13 26.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	10 20.0	6 12.0	14 28.0	4 8.0	1 2.0	1 2.0	5 10.0
40歳代	9 10.0	21 23.3	15 16.7	5 5.6	4 4.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26 28.9	2 2.2	0 0.0	0 0.0	2 2.2	12 13.3	5 5.6	25 27.8	10 11.1	3 3.3	14 15.6	8 8.9
50歳代	11 12.9	19 22.4	11 12.9	12 14.1	8 9.4	2 2.4	1 1.2	1 1.2	23 27.1	1 1.2	3 3.5	0 0.0	0 0.0	8 9.4	3 3.5	22 25.9	15 17.6	2 2.4	9 10.6	4 4.7
60歳代	3 4.3	16 23.2	16 23.2	2 2.9	7 10.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 11.6	0 0.0	2 2.9	0 0.0	0 0.0	8 11.6	6 8.7	22 31.9	5 7.2	2 2.9	5 7.2	6 8.7
70歳以上	0 0.0	12 21.8	7 12.7	3 5.5	3 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	2 3.6	0 0.0	4 7.3	5 9.1	1 1.8	8 14.5	3 5.5
年 齢 無記入	2 25.0	4 50.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0
計	30 7.4	82 20.3	63 15.6	24 5.9	29 7.2	3 0.7	1 0.2	1 0.2	97 24.0	8 2.0	11 2.7	0 0.0	6 1.5	47 11.6	27 6.7	109 27.0	46 11.4	11 2.7	39 9.7	28 6.9

どのような学習・文化活動・スポーツを望むか (問10) その2 (複数回答)

	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81
20歳代	0 0.0	8 17.0	1 2.1	3 6.4	3 6.4	3 6.4	2 4.3	0 0.0	1 2.1	0 0.0	1 2.1	5 10.6	5 10.6	6 12.8	3 6.4	2 4.3	5 10.6	9 19.1	4 8.5	3 6.4	0 0.0
30歳代	0 0.0	10 20.0	2 4.0	2 4.0	4 8.0	2 4.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	3 6.0	2 4.0	8 16.0	4 8.0	4 8.0	7 14.0	19 38.0	12 24.0	4 8.0	2 4.0	0 0.0
40歳代	1 1.1	23 25.6	13 14.4	7 7.8	10 11.1	8 8.9	12 13.3	0 0.0	0 0.0	2 2.2	7 7.8	7 7.8	21 23.3	13 14.4	7 7.8	10 11.1	18 20.0	22 24.4	3 3.3	4 4.4	0 0.0
50歳代	4 4.7	18 21.2	10 11.8	5 5.9	7 8.2	8 9.4	9 10.6	0 0.0	0 0.0	2 2.4	4 4.7	7 8.2	14 16.5	18 21.2	7 8.2	10 11.8	13 15.3	11 12.9	0 0.0	6 7.1	0 0.0
60歳代	4 5.8	14 20.3	7 10.1	5 7.2	3 4.3	8 11.6	12 17.4	0 0.0	0 0.0	2 2.9	2 2.9	4 5.8	12 17.4	11 15.9	6 8.7	5 7.2	9 13.0	8 11.6	5 7.2	1 1.4	0 0.0
70歳以上	4 7.3	9 16.4	8 14.5	4 7.3	1 1.8	5 9.1	5 9.1	1 1.8	0 0.0	1 1.8	1 1.8	3 5.5	7 12.7	8 14.5	2 3.6	1 1.8	1 1.8	0 0.0	1 1.8	7 12.7	0 0.0
年齢 無記入	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	4 50.0	6 75.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0
計	13 3.2	84 20.8	41 10.1	26 6.4	30 7.4	35 8.7	44 10.9	2 0.5	1 0.2	8 2.0	20 5.0	29 7.2	71 17.6	66 16.3	30 7.4	35 8.7	68 16.8	63 15.6	17 4.2	24 5.9	0 0.0

どのような学習・文化活動・スポーツを望むか (問10) の注

<趣味や生きがい>

1. 日本舞踊 2. 新舞踊 3. 民舞 4. 茶道 5. 華道 6. 書道 7. 詩吟 8. 写真 9. 盆栽  
 10. スケアダンス 11. 尺八 12. 和紙人形づくり 13. 大正琴 14. 手芸 15. 陶芸 16. 絵画  
 17. 水墨画 18. ちぎり絵 19. コーラス 20. 自分史 21. 木彫り 22. 人形劇の鑑賞 23. 草木  
 染め 24. 太鼓 25. 小説・詩・短歌や俳句などの文芸作品の鑑賞 26. 小説・詩・短歌や俳句などの文芸  
 作品の創作

<健康づくりのため>

27. 健康体操 28. リズム体操 29. 卓球 30. バドミントン 31. ソフトボール 32. バレーボール  
 33. バスケットボール 34. ヨーガ 35. エアロビクス 36. 筋力トレーニング 37. ゲートボール  
 38. 野球 39. 水泳 40. サッカー 41. ゴルフ 42. 仕事をする中で健康を保つ法 (腰痛・貧血などを  
 防いだり治したりする法)

<教養を深めるため>

43. 歴史講座 (世界史・日本史・郷土史など) 44. 伝統芸能

<外国語講座>

45. 中国語 46. ハングル語 47. ポルトガル語 48. タガログ語 49. 英語 50. フランス語  
 51. ドイツ語 52. イラン語 53. その他 ( 語)

<生活に役立てるため>

54. 着付け 55. 洋裁 56. 料理 57. 年金や生活設計に関する知識 58. 消費者保護に関する知識  
 59. 地域の暮らしのあり方を考える (高齢化社会における福祉など) 講座 60. 自然環境の保護と開発をめぐる  
 課題 61. 水不足にならないための課題 62. 食べ物の安全性 (農薬・食品添加物等について) 63. ゴミ  
 問題 64. 対人関係 (問題) 65. 子ども・青年の教育問題 66. 日頃、自分が考えていることをお互いに  
 話し合う会

<仕事や職業に役立てるため>

67. 農業の生き残る道 (将来展望) 68. 漁業の生き残る道 (将来展望) 69. 漁業技術の研究 (魚群探知機  
 や漁法の開発など) 70. 林業の生き残る道 (将来展望) 71. 工場の生き残る道 (将来展望) 72. 自営  
 商店の生き残る道 (将来展望) 73. 景気の動き

<社会問題を深くとらえるため>

74. 政治・経済の国際的・国内的動き 75. 脳死や臓器移植の問題

<その他>

76. 手話 77. ワープロ講習 78. パソコン講習 79. その他 80. とりくみたいと思わない 81. 無  
 記入

(付記)

本調査研究は、1994年度香川大学教育研究特別経費を受けて実施したものである。同年度末にアンケート結果の単純集計および年齢層毎による集計を元にして考察したものを「地域住民の生涯学習要求の構造と特質－香川県長尾・大内両町の概況－」（同年度教育研究特別経費研究成果報告書『大学に対する地域住民の生涯学習要求に関する調査研究』香川大学生涯学習教育研究センター、1995年3月）にまとめた。本稿は、さらに職業別による集計およびアンケート設問間のクロス集計結果を加えて分析し、前稿をやや大幅に加筆修正したものである。

本調査研究を実施するにあたって、アンケートにご協力くださった回答者の方々、および本調査の趣旨に理解を示し、調査票を作成し分析する上で貴重な情報を提供してくださった長尾・大内両町の各教育委員会事務局に心よりお礼申し上げます。また、本調査を実施するにあたり、種々の相談に懇切に応じてくださった大藪和雄先生（香川大学経済学部）および佐藤幹子先生（香川大学経済学部）に心よりお礼申し上げます。

